

# WingNeo<sup>®</sup> INFINITY 2024

## バージョンアップ情報

- P.1** 一括インストール 登場
- P.1-8** 測量基本各種ツール・ライセンス統廃合
- P.9-12** 地籍調査システム関連の機能 UP
- P.12-14** 測量・設計 地形サーフェスの活用
- P.15-16** UAV を用いた測量 機能の強化
- P.17-19** 拡張 DM 変換と 3 次元への活用
- P.20-25** 登記支援プログラムの大幅強化
- P.26-36** システム全体の改善と修正項目  
Wingneo<sup>®</sup> INFINITY2023 リリース以降の TP プログラム配信内容を含みます。

# WingNeo<sup>®</sup> INFINITY 2024

## バージョンアップ情報



### Wingneo<sup>®</sup> INFINITY 2024 バージョンアップ情報【初版】

発行 アイサントクノロジー株式会社

2023-03 愛知県名古屋市中区錦3丁目7番14号 ATビル  
TEL : 052-950-7500 / FAX : 052-950-7507  
Copyright 2023 AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD.

- 無断複製・転記を禁じます。
- 記載のコンテンツは一部開発中コンテンツを含み、実際の機能・画面構成とは異なる場合があります。
- 本製品との説明が異なる場合、本製品が優先されます。

※ ソフトウェアの著作権につきましては使用許諾をご参照ください。  
※ Microsoft, Windows, Microsoft Edge, Microsoft 365, Microsoft Office, Excel は、米国 Microsoft Corp. の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。  
※ Adobe, Acrobat, Acrobat Reader は、米国 Adobe Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
※ Oracle および Java は、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。  
※ I-Construction は、国土交通省 国土技術政策総合研究所の登録商標です。  
※ AutoCAD は、米国 Autodesk, Inc. の登録商標です。  
※ 本紙に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

**AISAN**  
TECHNOLOGY CO.,LTD.

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル

 **0570-064-457**

<https://www.aisantec.co.jp/>



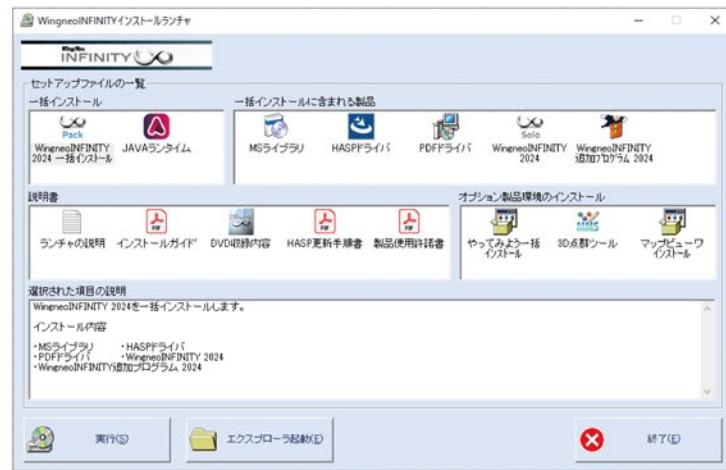
**AISAN**  
TECHNOLOGY CO.,LTD.

## 一括インストール 登場 — INFINITY本体・環境等

+

MS ライブラリ、INFINITY 本体、PDF ドライバ、HASP ドライバ、追加プログラム（登記支援）の一括インストールが可能になります。

DVD から起動する Wingneo<sup>®</sup> INFINITY インストールランチャに〔一括インストール〕アイコンが登場しました。インストール作業に関わる時間短縮や、ライブラリ、ドライバ類のインストール忘れ対策になります。



従来の個別インストールに加え、一括インストールを新搭載



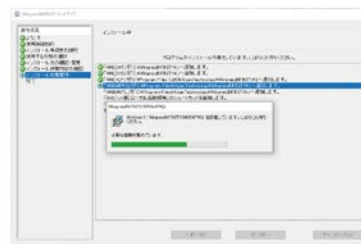
MS ライブラリのインストールから始まる INFINITY の使用までのインストールを自動化  
※ JAVA™はバージョン選択がユーザー様固有



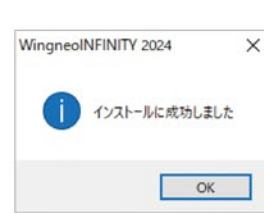
従来からある INFINITY 本体の個別インストール  
MS ライブラリ等 順序に沿った手動インストールを行います



必要な項目を必要な順序で自動実行



順次インストールが実行されます



## 写真配置 — CAD Exif情報からダイレクトに

+

写真データの Exif 位置情報を利用した CAD 配置が可能になります。

撮影時の立ち位置と撮影した方向、を自動的に図示できます。杭など撮影対象を示す「○」の位置や撮影方向「→」をマウスで微調整することも可能です。

写真は複数ファイルの選択も可能で、〔配置〕により、CAD 配置する写真・しない写真を設定できます。ファイルリストの写真をつづつ置いていく〔選択配置〕と、まとめて配置する〔自動配置〕が選択できます。

CAD 上の撮影位置と配置写真には双方に共通の通し番号が自動設定されます。



画像配置から EXIF 情報配置を選択し、複数画像を読み込み



撮影方向の図示とともに番号参照付きの写真配置が可能

## 写真配置 — Exif情報からダイレクトに

操作場所 【CAD】-【汎用 作図 1】-【画像】-【EXIF 情報配置】

### 操作手順

0 前段条件 測量基本 CAD に世界座標を持つプロット、WingFan! のデータファイル〔ユーザーデータ〕内に Exif 情報を持った杭写真データを入れた状態から CAD に写真配置をする場合

1 【CAD】-【汎用 作図 1】-【画像】を開き、【EXIF 情報配置】を選択します。



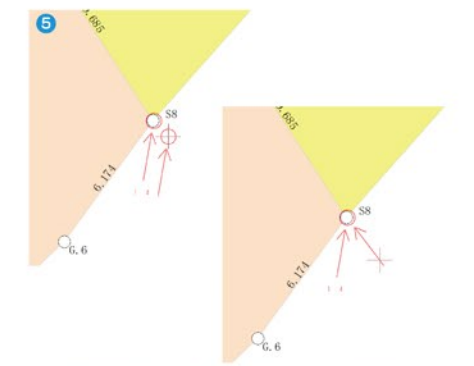
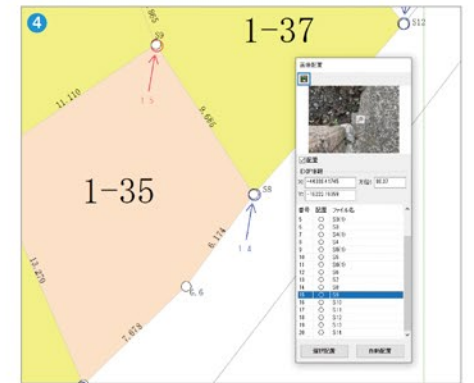
2 写真の保管場所をたどります。（ここでは〔現場ユーザフォルダへ移動〕から写真のあるフォルダを開きます。

3 Shift キーを押しながら、複数の配置する写真を選びます。

4 読み込みが終わると、画像配置のファイル一覧が開きます。プロット位置には一覧の番号に対応した撮影位置・撮影方向のプレビューが表示されます。

5 撮影箇所の対象「○」や撮影方向矢印「→」は位置や方向の編集ができます。ファイル一覧で行を選択するか、CAD プレビューの図形をクリックすると選択できます。数字部分や「○」部分をクリックすると撮影位置を XY 上で編集でき、矢印「→」部分をクリックすると「○」を中心に撮影方向を回転できます。ファイル一覧で行選択した際の〔X:〕〔Y:〕〔方位:〕で数値編集によって移動することも可能です。

6 写真の配置には〔選択配置〕と〔自動配置〕の2種が用意されています。配置が完了するとコマンドは自動的に終了します。

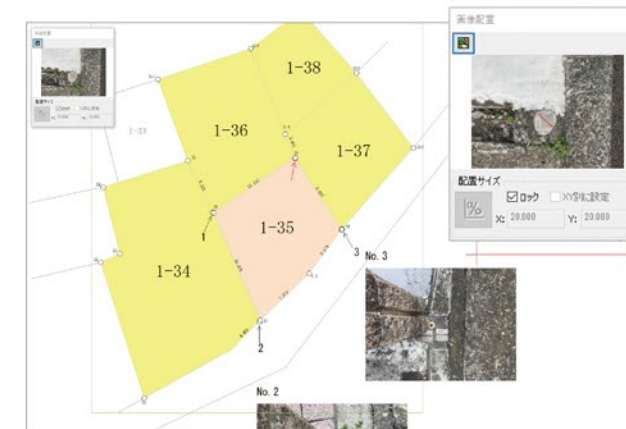


撮影箇所「○・数字」のクリック移動と「矢印」クリックによる回転

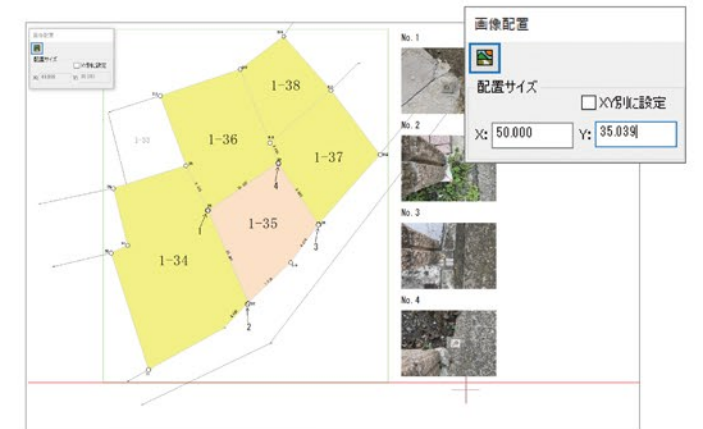
〔選択配置〕 ファイル一覧の写真を1枚ずつ配置します。大きさや配置位置などを1枚ずつに対して設定できます。現在の座標系上に配置されます。

選択行の写真を配置するという意味ではありません。配置しない写真を決める場合はファイル一覧で行をダブルクリックするか、配置のチェックをはずします。自動配置の場合も同様です。

〔自動配置〕 ファイル一覧の写真をまとめて配置します。〔X:〕〔Y:〕は用紙上の mm を表します。複数写真を同じ条件で配置する場合に有効です。カット位置のマウス指示によって続きを別な場所に配置できます。現在の座標系上に配置されます。



上：選択配置の様子 下：配置時のツール



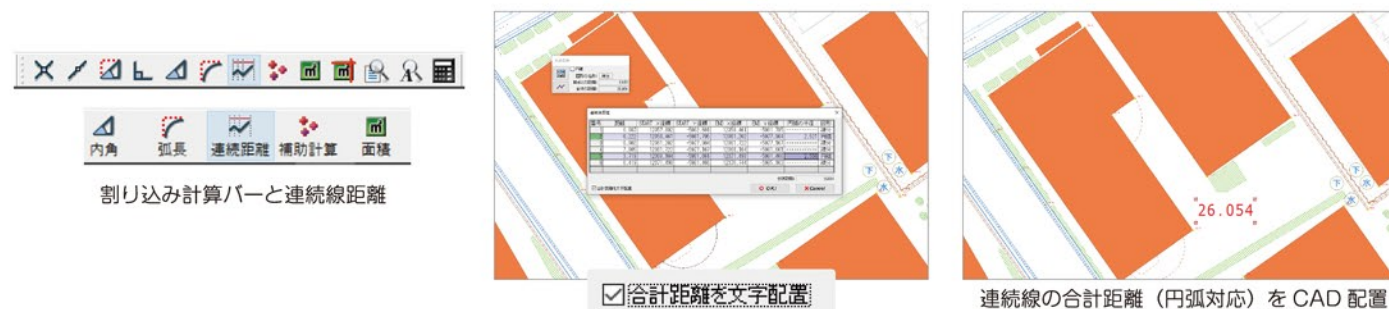
上：自動配置の様子 下：配置時のツール

## 連続線距離の文字配置 — 割り込み計算

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

CAD—割り込み計算の連続線距離の計測結果を文字配置できるようにしました。

割り込み計算〔連続線距離〕に〔合計距離を文字配置〕する機能を搭載しました。  
スナップ位置で連続線を構成し、〔OK〕を押した後に合計距離をCAD配置できます。  
〔円弧〕が途中混在している場合も弧長を考慮した合計距離配置が可能です。

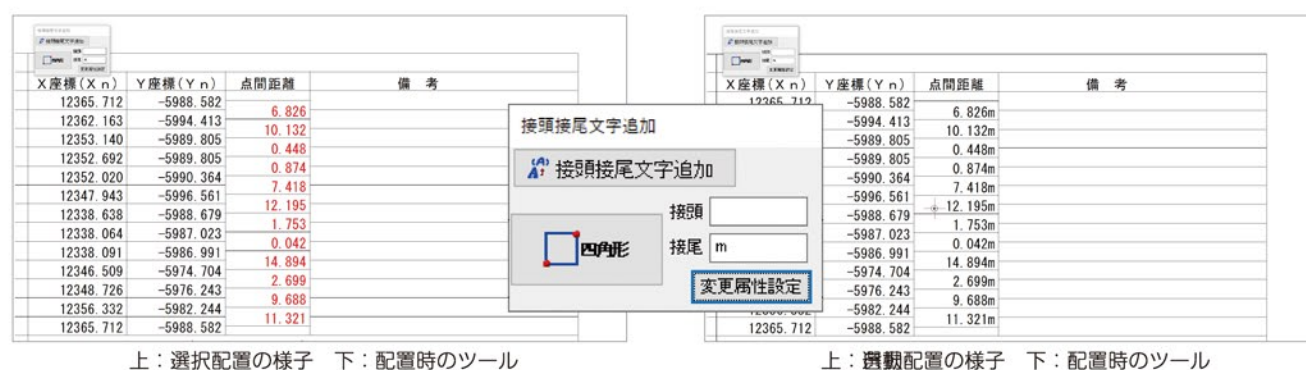


## CAD文字 接頭接尾文字追加 — 四角形指定

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

文字編集の〔接頭接尾文字追加〕に〔四角形〕指定モードを追加しました。

これまでクリックによって接頭接尾文字を追加してきましたが、本バージョンより〔一点〕と〔四角形〕のモードを切り替えられるようにしました。



### 文字編集—接頭接尾文字追加 — 四角形指定

操作場所 【CAD】—〔汎用 編集〕—〔文字編集〕—〔接頭接尾文字追加〕

#### 操作手順

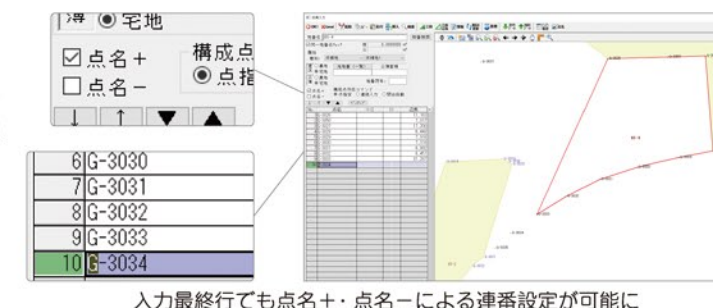
- 1 【CAD】—〔汎用 編集〕—〔文字編集〕—〔接頭接尾文字追加〕を開きます。
- 2 〔一点〕をクリックし、〔四角形〕モードに変更します。
- 3 〔接頭〕または〔接尾〕の箇所追加したい文字列を入力します。  
※ 両方に入力しても構いません。
- 4 CAD上で四角形を対角指定すると、領域内の文字が赤色表示されます。  
〔Y/N ?〕の表示で左クリックをすると文字が追加されます。

## 区画入力 — 〔点名+〕〔点名-〕モードの改善

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

区画入力時、〔点名+〕〔点名-〕が新規入力行にも有効になりました。

従来〔点名+〕〔点名-〕を使うためにはあらかじめ既存の入力行が必要でした。そのために〔挿入〕を連続し空き行を作る必要がありました。  
本改訂により、入力の最終行においても+1 点名 (例: G.10 → G.11 → G.12 → ...) -1 点名を自動入力できるよう改善し、連番で区画の管理をする場合の入力を「Enter キー」の連続のみで解決できるようにしました。



入力最終行でも点名+・点名-による連番設定が可能に

### 区画入力 — 〔点名+〕モードによる作成

操作場所 【測量基本】—〔区画・結線〕—〔区画入力・訂正〕—〔点名+〕

#### 操作手順

0 前段条件 区画の構成点を「接頭文字列+連番」で座標化しており、連番入力によって区画作成をする例です。

- 1 〔地番名〕を設定後、〔点名+1〕をONにします。
- 2 〔点名〕にカーソルを移し、初点をビューから選択します。  
2行目に初点+1の点名が自動入力されます。
- 3 〔Enter〕を押し、次々と区画を構成していきます。  
※ 途中で点名を変えたり、ビューから選択することもできます。  
完了したら〔OK〕を押して確定します。

## 区画・座標選択の操作融通

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

測量基本 CAD の表配置時など、区画や座標をリスト整理してから配置するケースは多くあります。本バージョンではそのリストでの選択・解除の操作に改良を加え、よりスムーズに目的のリストを整えられるよう改訂しました。

### 1. 区画一覧選択の操作融通

〔区画一覧選択〕における〔追加 →〕・〔← 解除〕間の移動にかかる時間を短縮しました。

また、〔追加 →〕・〔← 解除〕それぞれの移動後、移動したデータが選択状態になるようにし、リスト末尾で移動状態が確認できるようにしました。

リストの編集状態は〔一覧切替〕でデータを切り替えた場合や、〔OK〕または〔キャンセル〕で区画一覧選択の処理を終えた場合にはリセットされます。



区画選択解除直後のリスト

## 2. 座標選択の操作融通

表などにリスト化する〔座標選択〕においても〔追加 →〕・〔← 解除〕間の移動にかかる時間を短縮しました。

区画選択と同様、〔追加 →〕・〔← 解除〕それぞれの移動後にはデータが選択状態になるようにし、リスト末尾で移動状態が確認できるようにしました。

リストの編集状態は〔XY 切替〕を押すか〔OK〕を押して確定した場合にはリセットされます。



座標選択追加状況がわかる

### ポイント — 求積表配置で見る これまでとの違いは？

これまで求積表配置したい区画を左側のリストから選び〔追加 →〕をした場合、選択済みのデータとして右側に移動のみでした。右側のリストでは移動した（新たに選択した）データに選択状態はなく、常に一番上のデータからリストを表示していました。（〔← 解除〕の場合も同様の動作）

改訂後は、

〔追加 →〕〔← 解除〕で区画選択（選択解除）の左右移動をした場合、移動したものが選択された状態が保持されるため、選びなおしの操作にもその場で対応できる

〔追加 →〕〔← 解除〕したものは、左右リストの一番下に並ぶため、どの区画をさらに追加したいか・解除したいかの判定がしやすい

〔追加 →〕〔← 解除〕での左右移動のスピード向上

こうした利点を生かすことができます。

同様の改訂は、（区画選択だけでなく）座標を一覧から選ぶコマンド類でも行っています。

（例：〔座標表配置〕-〔座標リスト〕からの座標の〔追加 →〕〔← 解除〕

区画選択・座標選択の操作融通 改訂が行われたコマンドは下記になります。

区画選択	求積表配置	座標表配置	引照点表配置	FKP 位置参照点表配置	座標交換表配置
	区画削除 & 交換 & 追加	区画情報一括配置	区画情報表配置	区画属性変更	縦覧表配置
座標選択	座標表配置	座標表配置	引照点表配置	FKP 位置参照点表配置	座標交換表配置

### 区画選択 — 区画削除での操作例

操作場所 【測量基本 CAD】-【用地 区画】-【区画削除 & 交換 & 追加】-【区画削除】

#### 操作手順

- 1 【測量基本 CAD】-【用地 区画】から【区画削除】を開きます。
- 2 リスト左から CAD に不要な区画を選択し、〔追加 →〕をします。  
※ リスト右に選択された状態で移動するのがわかります。
- 3 リスト左からさらに不要な区画を選択し、〔追加 →〕をします。  
※ リスト右に追加した区画のみが選択された状態で移動するのがわかります。

- 4 選択状態のまま試しに〔← 解除〕を押してみましょう。  
※ リスト左の一番下に解除した区画が選択された状態で移動するのがわかります。
- 5 【OK】を押し、区画削除を確定します。

## ビュー点名表示等の解像度対応



INFINITY の作業ウィンドウを持つ各種ツールのビューにおいて、PC 本体のディスプレイ表示スケールの変更に伴った視認性に関する調整を行いました。

INFINITY には、データビューや区画構成点チェックツール・建物形状入力・オートコンタなど、独立したウィンドウにそれぞれのビューを持つツールが多数あります。

本改訂では、こうしたウィンドウ表示されるビュー内の点名・地番名の表示を、PC 側の設定でディスプレイの表示スケールを変更した場合においても見やすく使えるよう改良しました。



Windows<sup>®</sup> 設定とテキストサイズ拡大

150% 拡大と右側ビュー表示

100% 等倍と文字サイズ大のビュー表示

改訂が行われた各ツール内ビューは下記になります。

#### データビュー データビュー設定

点名表示・ルーラーの目盛数字・データビュー設定の〔文字設定〕-〔サイズ〕を変更（大・中・小）した際の視認性を調整しました。

Windows<sup>®</sup> のメインディスプレイのスケール（拡大 / 縮小）にあわせて、データビューの点名や地番等の文字のドット数が増減するよう変更しています。

〔データビュー設定〕-〔文字設定〕でサイズを大きく変更した際には、文字の大きさの変化量を増やすよう調整しています。

#### SIMAファイル入力

【測量基本】-【外部データ】-【SIMA ファイル】-【プレビュー】の表示結果（点名・地番名）を調整しました。

#### 区画一覧内の 編集ツール

【測量基本】-【区画・結線】-【区画一覧】の【三斜編集】【合筆】【登記情報一括取り込み】【区画選択】において Windows<sup>®</sup> のメインディスプレイのスケール（拡大縮小）によって点名などの文字のドット数が増減するよう変更しました。

#### 区画構成点チェック

【測量基本】-【ツール】-【区画構成点チェック】の表示結果（点名・地番名）を調整しました。

#### 地図XML ファイル入力

【測量基本】-【外部データ】-【地図 XML ファイル入力】-【プレビュー】の表示結果（点名・地番名）を調整しました。

#### 区画シェープ ファイル出力

【測量基本】-【外部データ】-【区画シェープファイル出力】の表示結果（点名・地番名）を調整しました。

#### 測量基本 割込み計算

【測量基本】-【割込み計算】-【2 点間計算】【3 点間計算】【垂線計算】【面積計算】の表示結果（点名・地番名）を調整しました。

- オートコンタ** 【測量基本】-【ツール】-【オートコンタ】の表示結果（点名）を調整しました。
- 地籍調査システム** 【地籍調査】-【基本情報】の【地区情報】【地図番号】、  
【地籍調査】-【調査情報】の【地籍調査情報入力】-【立会日程 / 班設定】、  
【地籍調査】-【座標管理】の【筆界点属性編集】  
【地籍調査】-【一筆地】の【筆界点成果表】  
【地籍調査】-【情報化】の【地図 XML 入力】  
の各ビューのフォント表示結果（点名・筆界名）を調整しました。
- 建物CADシステム** 【建物】の【形状入力】・【背景設定】、【面積編集】-【自動分割】・【任意分割】の各ビューの表示結果（形状番号・点名）を調整しました。
- 展開図CAD** 【展開図】-【ヘロン展開図】の【ヘロン展開図】【混合展開図】において、Windows® のメインディスプレイのスケール（拡大縮小）によってワーク内ビューの図形番号のドット数が増減するよう変更しました。

## 一部ツールの廃止と代替・一部ライセンスの統合

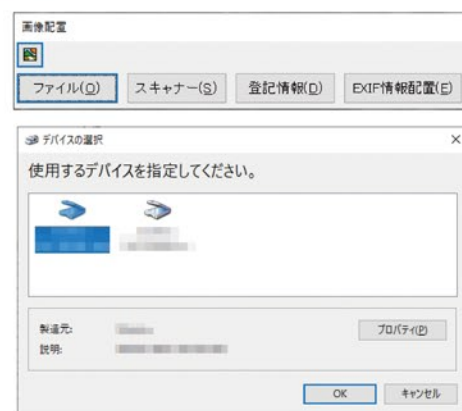


プログラム環境の変化などを踏まえ、下記ツールを廃止（一部は代替）する運びとなりました。

### 廃止

- 旧 ユート工業社システムの現場データコンバート
- 指紋認証のモジュール
- TeamGEO の現場データコンバート
- Wingneo 3D Advance
- TWAIN ドライバー **代替**
- 構造物作成ツール関連 **代替**
- 自在眼 **代替**

TWAINドライバーからスキャナー選択方式へ  
CAD やスキャンショットで画像配置時の TWAIN 機器などで用いてきた TWAIN ドライバーは【スキャナー】選択が可能なツールに置き換わります。



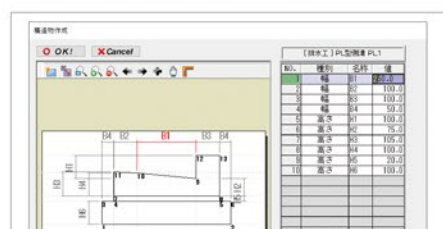
CAD 画像配置と TWAIN からスキャナーへ

### 構造物作成は【条件設定】-【構造物作成】へ

測量基本 CAD の簡易断面や縦横断で用いる構造物は、  
測量基本：【条件設定】-【構造物作成】、縦横断：【左メニュー  
構造物】に統合いたします。



測量基本では条件設定から構造物作成へ



縦横断では左メニュー 構造物からの作成

自在眼をOffice Server Document Converter に  
WingFan! や登記支援プログラムで多く利用していた  
自在眼を Office Server Document Converter に  
変更しました。

### Adobe® Acrobat Readerの併用

PC 作業で Microsoft® Edge でのみ PDF 表示しているお客様はプレビュー表示のため Adobe® Acrobat Reader の併用をお願いいたします。

また、下記をライセンス統合し、幅広くお使いいただけるようにしました。

### 基準点観測支援プログラム

基準点観測支援プログラムを厳密網平均計算・あるいは簡易網平均計算・単路線平均計算プログラムライセンスに統合しました。

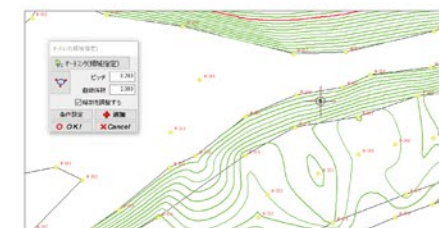
前述のプログラムをすでにお持ちのお客様は、地理院地図などを背景に既知点に加え新点位置を大雑把に設置し、“作業規程に沿った配点が可能か？”をシミュレーションし、計画の図面化や観測データの PocketNeo® への連動機能をお使いいただけます。



基準点観測支援プログラム

### オートコンタと電子平板コンタ作成の統合

CAD やツールとして等高線・メッシュを作成するオートコンタライセンスと、現場における電子平板上で標高データからその場でコンタ曲線を作成する電子平板コンタ作成ライセンスを統合しました。



オートコンタ

## 人名や地名箇所のUnicode文字対応



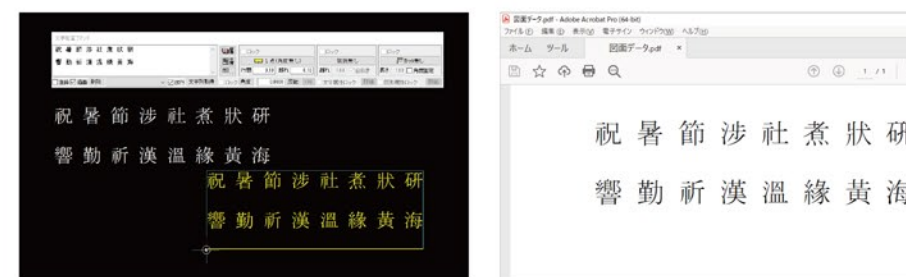
CAD や帳票など、人名・地名を利用する箇所（ワーク）や CAD での文字入力・プリンタ出力を中心に、従来の ShiftJIS の文字体系に加え、Unicode(UTF-8) の文字を扱えるように変更しました。

主な入力対応箇所は下記になります。

※ 必要性のない部分や互換性が重視されている部分は従来通り ShiftJIS のみが有効になります。  
**CAD データ読み込みや貼り付け、印刷など すべての互換性を保証するものではありません。**

### 主な Unicode 文字対応箇所

- 区画情報入力 【測量基本】-【区画結線】-【区画・結線】-既存データ【情報】
- 地籍調査情報入力 【地籍調査】-【左タブ 調査情報】-【地籍調査情報入力】
- CAD 文字配置 【測量基本 CAD】-【汎用 作図 1】-【文字】



CAD への漢字文字配置と PDF 印刷例



区画情報への漢字入力と区画情報一覧の印刷プレビュー

## 立会日程の連携活用 — 地籍調査・登記所備付地図作成

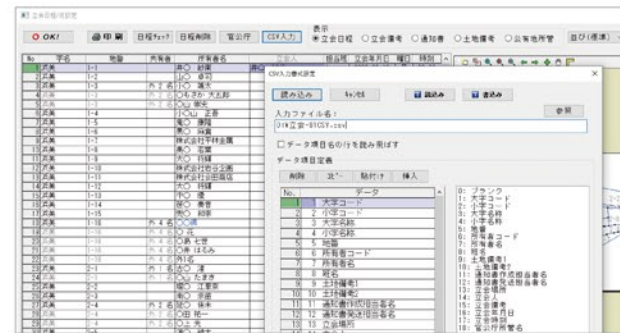
+

地籍調査情報入力にある〔立会日程 / 班設定〕に、入力データ印刷機能と CSV 入力機能を搭載しました。

現地調査支援システムである「E-Collector」への出力機能 (INFINITY2023 TP によるリリース) と合わせ、地籍調査や登記所備付地図作成における現地調査とのスムーズな連携作業が可能となります。



立会日程 / 班設定 各項目の印刷



立会日程 / 班設定への CSV 入力

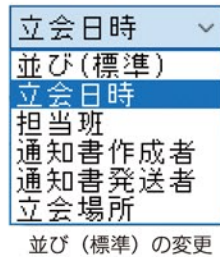
### 立会日程/班設定の入力印刷

操作場所 【地籍調査】-〔調査情報 既存ワークを選択〕-〔立会日程 / 班設定〕-〔印刷〕

#### 操作手順

① 前段条件 【立会日程 / 班設定】の表示データ (●による〔立会日程〕〔立会備考〕〔通知書〕〔土地備考〕〔公有地所管〕) に印刷したいデータが入力されている必要があります。

- 印刷したいデータを●の切り替えて表示します。
- 〔並び (標準)〕の箇所て印字の並び替えをしたい項目があれば切り替えます。
- 〔印刷〕で一覧を印刷します。



並び (標準) の変更



立会日程 / 班設定への CSV 入力

### 立会日程/班設定のCSV入力

操作場所 【地籍調査】-〔調査情報 既存ワークを選択〕-〔立会日程 / 班設定〕-〔CSV 入力〕

#### 操作手順

① 前段条件 E-Collector 等から立会の情報を CSV 出力するか Excel® 等で整形した CSV データを用意しておきます。

- 【地籍調査】-〔調査情報 既存ワークを選択〕-〔立会日程 / 班設定〕-〔CSV 入力〕を開きます。
- 取り込む CSV 内の並びをデータ項目定義で決めます。
- ※ よく使う並びの条件は〔読み込み〕・〔書込み〕で流用します。  
〔立会日程 / 班設定〕で扱うデータ項目は以下になります。

- 0: ブランク (空白) 1: 大字コード 2: 小字コード 3: 大字名称 4: 小字名称 5: 地番 6: 所有者コード 7: 所有者名 8: 班名 9: 土地備考 1 10: 土地備考 2 11: 通知書作成担当者名 12: 通知書発送担当者名 13: 立会場所 14: 立会人 15: 立会備考 16: 立会年月日 17: 立会時刻 18: 官公庁所管名

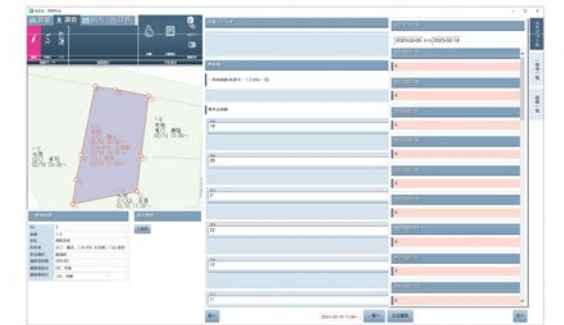


### 参考 1 E-Collector を使った現地調査

INFINITY2023のTPリリースにより、地籍調査システム〔調査情報〕の既存ワークから〔E-Collector出力〕する機能が搭載されています。

上記のCSV入力と合わせることで、INFINITYで編集した立会情報を現地でも事務所でも連携して活用できるようになります。

### E-Collector



E-Collector 出力後の立会現地支援

## 地籍 帳票印字丸めの変更

+

地目別筆数面積変動表等調書 (調査情報内)、字別 / 地目別集計表 (面積計算内) の面積丸めについて改訂しました。

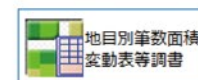
### 地目別筆数面積変動表等調書 (調査情報内)

面積の ha (ヘクタール) による集計箇所について、従来 ①面積の印字丸めで丸めた筆面積の合計を ha (ヘクタール) にして、②小数 2 位四捨五入固定で印字していましたが、②の部分をも小数 2 位切り捨て固定に変更しました。

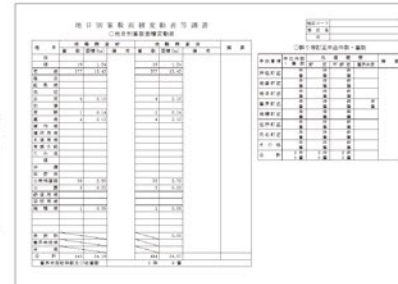
### 字別 / 地目別集計表 (面積計算内)

地籍調査作業規定準則 (令和 2 年改正) にそって、新規ワーク作成時の〔面積の印字丸め〕の初期値を「小数 2 位・切り捨て」にしました。

※ ワーク選択から右クリック〔条件編集〕-〔面積の印字丸め〕で確認・編集できます。



地目	筆数	面積 (ha)	備
田	19	1.24	
宅地	377	15.43	
雑草地			
総計			



地目別筆数面積変動表等調書と ha (ヘクタール) 表示



字別 / 地目別集計表と面積の印字丸め

### 地目別筆数面積変動表等調書の印刷

操作場所 【地籍調査】 - [左メニュー 調査情報] - [地目別筆数面積変動表等調書] - [印刷] - [計算書出力]

### 字別／地目別集計表と丸めの確認

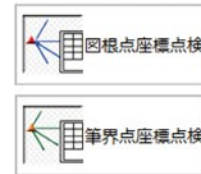
操作場所 【地籍調査】 - [左メニュー 面積計算] - [字別／地目別集計表] 既存ワーク右クリック [条件編集] - [面積の印字丸め]

## 地籍 点検観測 観測記簿・操作融通UP



図根点座標点検と筆界点座標点検について、下記の3点に新たに対応しました。

- 詳細設定に 点検観測の観測記簿を出力できるスイッチを追加しました
- 点検対象点を観測点とした座標点検ができるようにしました
- 点検対象の点属性や座標の発生元による制限を選択できるようにしました



#### 1. 詳細設定に 点検観測の観測記簿を出力できるスイッチ

ワーク内の詳細設定を放射トラバースと同様の動作にし、[印刷] - [計算書出力] 時に [  検測を含める ] [  観測記簿 ] の条件から点検観測の観測記簿を出力できるようにしました。

#### 2. 点検対象点を観測点とした座標点検

ワーク内の [観測方法] で [視準点+観測点] を選べるようにし、視準点または観測点が点検対象となる観測方法による点検をできるようにしました。

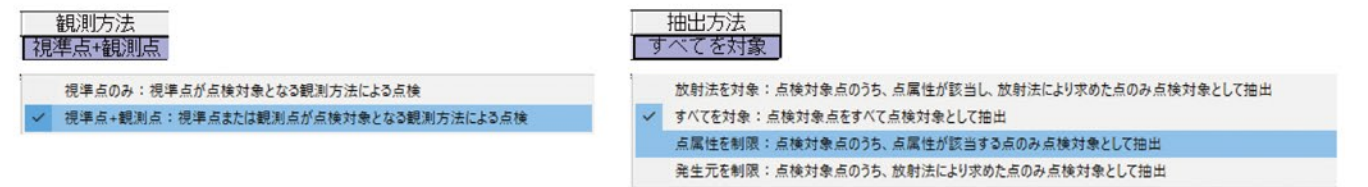
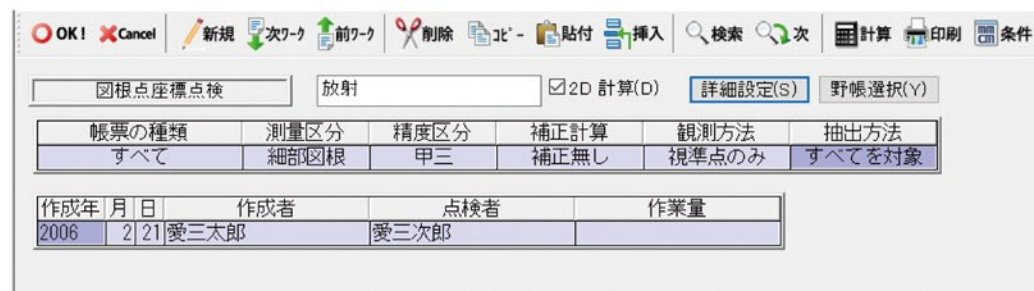
点検対象点が観測点となる点検観測方法 (H29 記載例 P239 参照) の様に、観測点が放射点となるパターンが [観測方法] の変更により対応可能となります。

#### 3. 点検対象の点属性や座標の発生元による制限を選択

ワーク内の [抽出方法] で野帳や座標管理の点属性・発生元をしばらくこんだ抽出をできるようにしました。具体的には下記の4パターンからの抽出方法選択になります。

従来は点属性が細部図根点または筆界点 (ワークにより) であり、座標の発生元が放射法 (開放・放射トラバースによる) 点のみが点検対象でしたが、抽出方法を変更することにより、それ以外も対象とすることができるようになります。

※ 図根点座標点検ワークでは筆界点の点属性、筆界点座標点検ワークでは細部図根点の点属性は点検対象としません。



図根点座標点検・筆界点座標点検の詳細設定と観測方法選択・抽出方法による野帳絞り込み

### 図根点座標点検

操作場所 【地籍調査】 - [左メニュー 図根点] - [図根点座標点検]

### 筆界点座標点検

操作場所 【地籍調査】 - [左メニュー 筆地] - [筆界点座標点検]

## 地形サーフェスの出力 — LandXML出力内



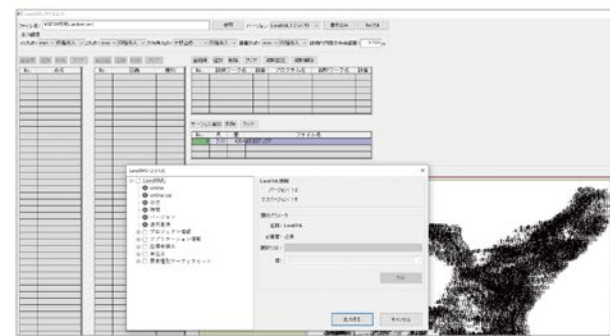
座標をもとにオートコンタで整形した3次元形状を LandXML のサーフェスデータとして書き出せるようにしました。

同時に LandXML1.2 は、Ver.1.4 出力・Ver1.5 出力に対応し、出力バージョンを選択できるようにしました。

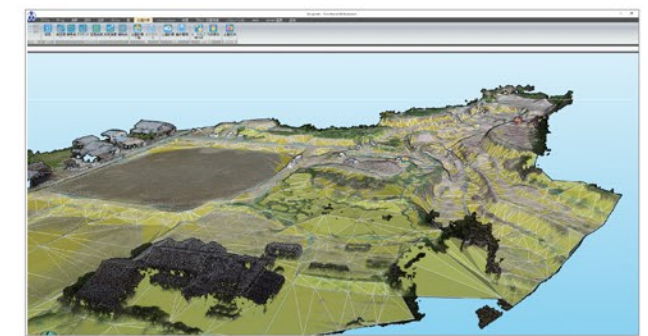
サーフェスの出力に対応するのは LandXML1.2 の出力バージョン 1.3 以降となります。[サーフェス追加] からツールオートコンタで作成した作業ファイル (拡張子 .CTF) を選択し、[書き込み] を行います。

点群処理ソフト WingEarth では i-Construction の設計データや土量・体積比較のための設計データとして地形サーフェスデータを活用できます。

土工の出来形計算を行ったり、点群・メッシュ・標高・設計データ同士の土量・体積比較計算を行い、CSV 出力を活用したり、3次元ビューでヒートマップを見て、さまざまな確認や更新作業、2次利用することができます。



LandXML1.2 (Ver1.5) による地形サーフェス出力



WingEarth での点群と地形サーフェスの重畳

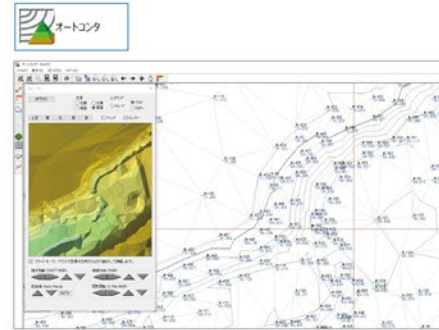
地形サーフェスを整える — オートコンタ

操作場所 【測量基本】-【ツール】-【オートコンタ】

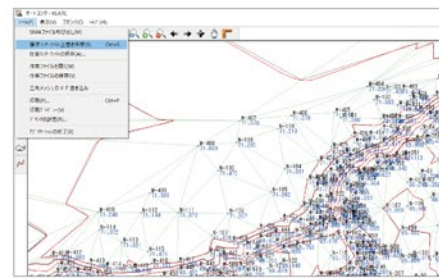
操作手順

0 前段条件 標高のある座標群を用意します。(オートコンタには標高を持った座標のみが表示されます。) 現場内の座標が扱えるほか、SIMA ファイルの読み込みにも対応します。

- 1 【ツール】-【オートコンタ】を開きます。
- 2 【コマンド】-【領域設定】で地形サーフェスとする領域全体を囲みます。フリースナップであり、領域形状の編集も可能です。
- 3 【コマンド】-【オートコンタ】でコンタ線の間隔を設定し【OK】を押すと三角メッシュとコンタ線の仮イメージが表示されます。  
※ この段階では曲線は表示されません。LandXML 出力時のサーフェス追加にはオートコンタの曲線形状は関係ないのですが、サーフェス追加で参照するCTF ファイルを生成するために、何らかの曲線データが必要になります。  
また、INFINITY で地形平面図を同時に作る際にはコンタ曲線によって表現が変わるため、曲線の設定についてもご説明いたします。
- 4 【コマンド】-【メッシュ編集】で三角メッシュ内をクリックし、メッシュ構成の組み換え編集をします。
- 5 【コマンド】-【コンター曲線設定】で曲線化の内側・外側設定、曲率を調整します。
- 6 【コマンド】-【コンター曲線作成】で条件に沿った曲線を生成します。
- 7 【ファイル】-【標準コンタファイル上書き保存】、もしくは【任意コンタファイルの保存】で作成データを保存します。  
※ CAD での地形・平面図に合成する場合は、【測量基本：CAD】-【ファイル】-【外部ファイル重ね読み込み】から【オートコンタファイル取り込み】を選択し、上記CTF ファイルを参照します。



オートコンタとメッシュ形状編集



標準コンターファイル上書き保存

LandXML出力

操作場所 【測量基本】-【外部データ】-【LandXML ファイル出力】

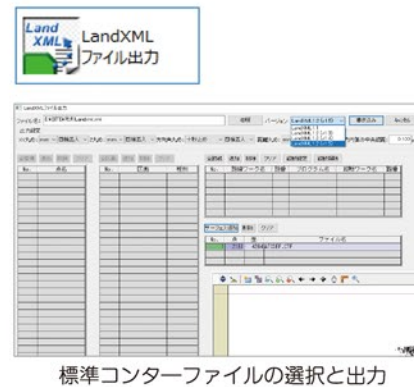
操作手順

0 前段条件 操作手順.1 で作成した地形サーフェスを LandXML 出力し、点群編集ソフト等で活用します。

- 1 【測量基本】-【外部データ】-【LandXML ファイル出力】を開きます。
- 2 左上の【ファイル名：参照】で出力ファイル情報を、【バージョン】でファイルバージョンを設定します。  
※ サーフェス追加に対応するのは LandXML 1.2(v1.3) 以降となります。



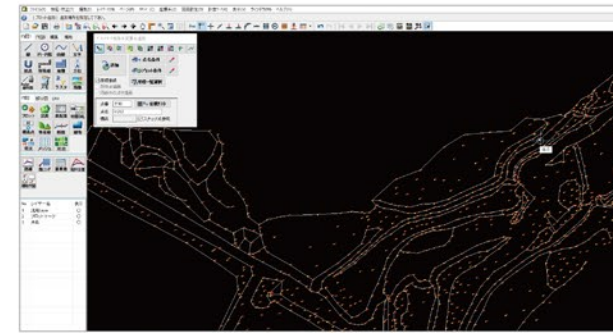
- 3 画面中ほどの【サーフェス追加】から「操作手順.1」で作成した地形サーフェス (CTF ファイル) を選択します。
- 4 【書き込み】によって LandXML ファイルへの出力が完了します。



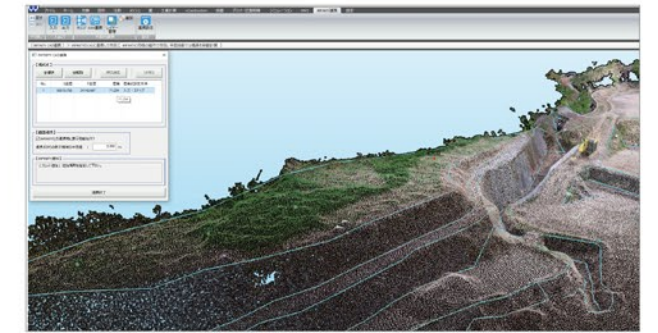
標準コンターファイルの選択と出力

参考1 WingEarth と連携して地形サーフェス座標を作る

WingEarthは 点群・メッシュ・測量座標・縦横断・CAD図形などを3次元作業空間でまとめて扱えるソフトウェアです。INFINITYとの親和性を高く設計しており、上記の多彩なデータをスナップすることで地形サーフェスのもととなる座標位置を効率的に かつ3次元での確認をしながら生成できます。



LandXML 1.2 (Ver 1.5) による地形サーフェス出力



WingEarth での点群と地形サーフェスの重量

ポイント — WingEarthのスナップ位置からINFINITYの標高を取得

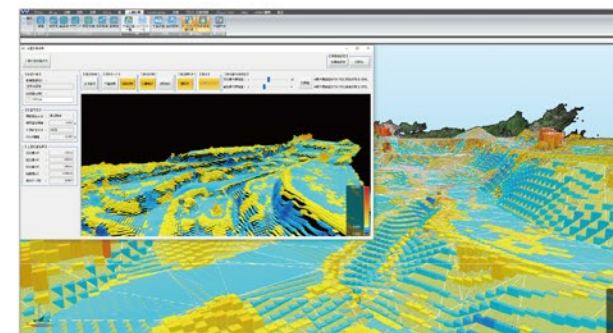
WingEarth は INFINITY の測量基本 CAD 編集作業とコマンド同時編集が可能です。  
INFINITY-CAD で【用地 作図】-【プロット】の 座標登録を起動すると、WingEarth 上のスナップ位置も双方のアプリに座標登録されます。  
スナップ点参照を ON にすることで、双方に X,Y, 標高のプロットが登録されます。  
INFINITY 側で、点群から生成したオルソ画像を背景に座標登録のスナップをした場合にも、WingEarth の同位置から標高データを得ることも可能です。



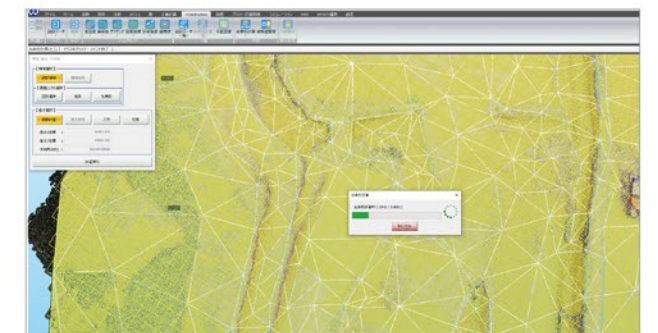
2 アプリで同時使用・同時登録される標高点

参考2 WingEarth と LandXML サーフェスの活用例

画像はINFINITYから出力したLandXML (サーフェス) をWingEarthに読み込み、体積計算に利用する例です。  
土工の設計データとしても利用でき、i-Constructionの出来形計算 (土工) にも活用できます。



WingEarth サーフェスと点群を比較した土量計算



WingEarth i-Construction 土工出来形計算への利用



# UAVを用いた測量 — UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル



WingEarth (点群処理) と連携し、国土交通省 国土地理院から平成 30 年 3 月に公開 (令和 2 年 3 月改正) の「UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」に沿った精度管理表・検査表に対応しました。

INFINITY2023 以降のマニュアル(案)に対する対応様式は下記になります。

様式	資料名
様式 1-1	キャリブレーション記録簿 (UAV レーザ機材点検記録)
様式 1-2	UAV レーザ機材精度試験記録
様式 2	飛行・計測諸元計画表
様式 3	固定局明細表
様式 4	調整点・検証点・コース間検証箇所配点図
様式 5	調整点明細表
様式 6	UAV レーザ計測記録簿
様式 7-1	最適軌跡解析記録簿 (Loosely Coupled 方式)
様式 7-2	最適軌跡解析記録簿 (Tightly Coupled 方式)
様式 8	コース間検証精度管理表
様式 9	オリジナルデータ均一度検査表
様式 10-1	調整点検証精度管理表 (標高)
様式 10-2	調整点検証精度管理表 (水平位置)
様式 11	点密度検証精度管理表
様式 12	検証点明細表
様式 13	点検測量結果精度管理表 (UAV レーザ再計測)
様式 14-1	点検測量結果精度管理表 (検証点・標高)
様式 14-2	点検測量結果精度管理表 (検証点・水平)
様式 15	点検測量結果精度管理表 (横断測量)
様式 16	グラウンドデータ作成作業精度管理表
様式 17	グリッドデータ作成作業精度管理表

本機能は、WingEarth での UAV レーザ点群処理を Wingneo<sup>®</sup> INFINITY に連携し、各種点検測量の精度管理表を作成する機能です。

〔測量基本〕に〔3次元成果作成〕グループを用意し、各帳票作成へのアクセスを一元化しています。(一部は CAD 図枠による作成)



点群処理と連携する UAV レーザ帳票 出力ツール

資料名 黒字 INFINITY2023 リリース後 TP に対応した帳票  
資料名 青字 INFINITY2024 で新たに対応する帳票

## 様式 8・9・10・13・14 の作成 — UAV 帳票出力

操作場所 【測量基本】-【ツール】-【UAV レーザ帳票出力ツール】

### 操作手順

0 前段条件 WingEarth の (INFINITY 連携) -【出力】 から (UAV 搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)) データを出力しておきます。上記の新たに対応する帳票に向けた出力データを連携フォルダに格納します。



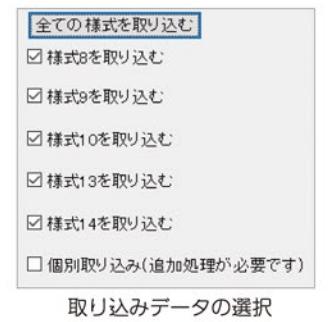
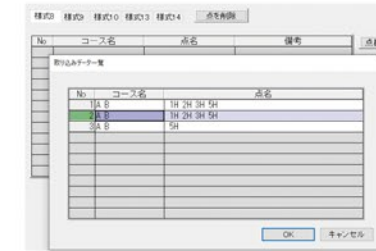
1 【測量基本】-【ツール】-【UAV レーザ帳票出力ツール】を開きます。  
※ [左メニュー 3次元成果作成] には [UAV レーザ帳票出力ツール] を含め、関連する成果作成ツールをまとめています。

2 (WingEarth 現場選択) を開き、前段条件で出力したデータがあることを確認します。無い場合は、[連携用フォルダ] のクリックから適切な連携データ出力場所を指定します。

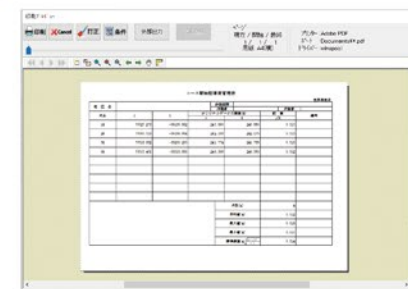


3 作成様式の  をするか、[全ての様式を取り込む] による全  指定ができるほか、 個別取り込み) による手動での追加ができます。

個別取り込みは、上記での  - [OK] 後、各様式をタブで切り替え、[+追加] によってデータを個別に選択します。



4 (上部ボタン 印刷) から様式タブごとに精度管理表を出力します。



様式 8 コース間検証精度管理表の出力

左図は [タブ 様式 13] の例です。様式番号ごとの帳票種類の確認や、精度管理に採用している [点群の確認]、また [制限値の入力] 内容を帳票内の合否判定に利用することができます。



## ポイント — INFINITY2023リリース後TPとつながる3次元計測ソリューション

Wingneo<sup>®</sup> INFINITY2023 のリリース後、TP 配信のなかで「3次元計測成果作成支援ツール」をリリースしています。「UAV 搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」対応の帳票や点の記作成ツールを使った「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」に対応した明細表などをパッケージに、INFINITY メイン画面に [3次元成果作成] を搭載しました。主な追加配信機能は下記の通りです。



3次元計測成果作成支援ツールのソリューションメニュー

### 3次元計測成果作成支援ツールの新設

「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」の各以下の帳票を出力できるワークの追加

- ・「標定点成果表」ワーク：様式第 1 標定点成果表
- ・「標定点精度管理表」ワーク：様式第 4-1 標定点精度管理表
- ・「測地座標系への変換 精度管理表」ワーク：様式第 5 測地座標系への変換 精度管理表

### UAV 帳票ツール

テキストファイルから「UAV 搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」の「様式 7-2 最適軌跡解析記録簿 (Tightly Coupled 方式)」を出力できる機能の追加

### 図 枠

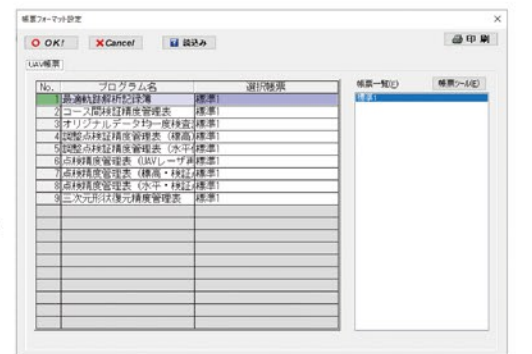
「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」の「様式第 2 地上レーザスキャナ・標定点配置図」の図枠「R2 地上レーザ 標定点配置図」の追加

「UAV 搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」の「様式 4 調整点・検証点・コース間検証箇所 配点図」の図枠「R2 UAV レーザ配点図 図枠」の追加

### 点の記作成ツール

点の記 (基準点) に「UAV 搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」の「様式 3 固定局明細表」、「様式 5 調整点明細表」、「様式 12 検証点明細表」の帳票の追加

点の記 (基準点) に「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」の「様式第 3 標定点明細表」の帳票「R2 地上レーザ 標定点明細表」の追加



3次元計測成果作成支援ツールの各種帳票データ管理

「基準点」「水準点」「街区基準点」において、新規追加を行う際の「点の記データ入力」ダイアログの「選点」「設置」「埋設」「観測」「観測年月日」「製製年月日」の元号と年の値が正しく表示されない問題の修正

## 拡張DM変換ツール — “準則”対応～3D数値地形連携

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

「i-Construction 推進のための3次元数値地形図データ作成マニュアル」への対応のため拡張DM変換ツールをWingEarthを使った構造化(TINモデル作成)、3次元地形サーフェスにスムーズに連携するツールへと機能強化しました。

また、地図情報レベル250による図郭割りや、作業規程の準則(令和2年3月版)に合わせた図式・フォーマットの変更などに対応しました。

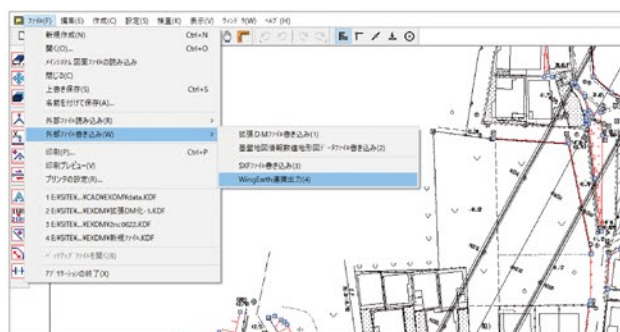
- 拡張DMデータのWingEarth連携出力
- ファイルフォーマットの変更
- 図式名称・寸法等の見直し
- 地図情報レベル250による図郭設定

### 拡張DMデータのWingEarth連携出力

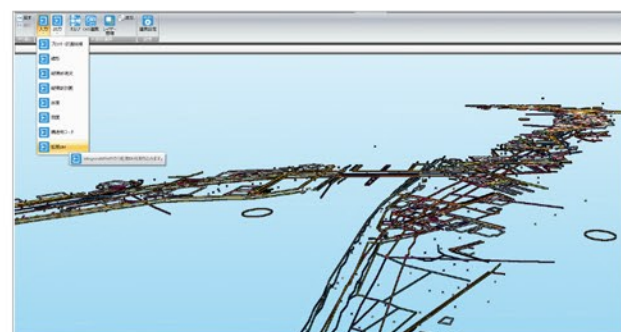
機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

拡張DM変換ツールにWingEarth向けの書き込みを搭載しました。

[メニューファイル] - [外部ファイル書き込み] に [Earth連携出力] を追加しました。  
WingEarth新バージョンではINFINITY連携によって拡張DMデータの取り込みができ、3次元のCAD図形として展開でき、地形サーフェス化するツールとしてお使いいただけます。



拡張DMデータをWingEarth(点群空間)へ



WingEarth INFINITY連携での拡張DMデータ取り込み

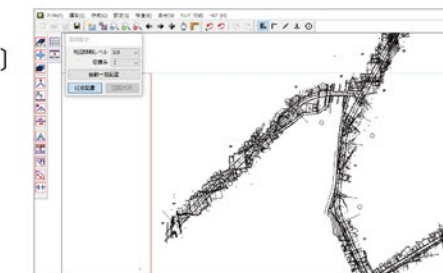
### 拡張DMデータのWingEarth連携出力

操作場所 【拡張DM変換ツール】 - [メニューファイル] - [外部ファイル書き込み] - [Earth連携出力]

#### 操作手順

- 前段条件 拡張DM変換ツールにWingEarth連携出力する図形・属性を用意します。  
[WingEarth連携出力]にはインデックスレコードの出力、装飾図形の出力は利用しません。  
また、単一の図郭情報のみを利用するため、[図郭設定]と、そのなかのコマンド[任意配置]で出力図形全体を含む図郭のみを用意します。

- [メニューファイル] - [外部ファイル書き込み] - [Earth連携出力]を開きます。
  - [フォルダー設定]でWingEarthとの連携をするフォルダを設定または確認します。  
※ [連携用フォルダー]を押すと、保存場所の再設定ができます。
  - [拡張DM書き込み]で出力を完了します。  
※ 複数の図郭情報がある場合、エラーとなります。◎前段条件[メニュー設定] - [図郭設定]から図郭を編集します。
- WingEarthでは、[上部タブINFINITY連携] - [入力] - [拡張DM]から拡張DMデータを展開し、点群など既存データに重ねられます。
  - [上部タブ図形] - [側面]コマンドによって、拡張DMデータから地形サーフェスを作成することも可能です。



③単一の任意図郭を作成

## 2. 拡張DMデータ ファイルフォーマットの変更

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

拡張DM変換ツールから拡張DMファイルを作成する際、「作業規程の準則(付録7公共測量標準図式)」令和2年3月版に合わせて、フォーマットを一部変更しました。

- 図郭レコード(a):バージョンを「1」から「2」に変更しました。
  - グリッドヘッダレコード:レコード数反復回数の桁数を3桁に変更しました。
  - 図郭レコード(b):レコード数反復回数を追加しました。
- 「公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表」の「数値地形図データファイル仕様」のうち、グリッドヘッダレコードに対して定義された情報です。  
レコード数反復回数は、レコード数が4桁を超える場合に用い、1～9,999が1、10,000～19,999が2、20,000～29,999が3、・・・通常は10,000を超えないために1とします。

## 3. 図式名称・寸法等の見直し

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

「作業規程の準則(付録7公共測量標準図式)」令和2年3月版に合わせて、拡張DMコード設定 - [デフォルト読み込み]の図式名称、寸法等を見直しました。

### 拡張DMデータの定義 デフォルト読み込み内容の見直し

操作場所 【拡張DM変換ツール】 - [メニュー設定] - [拡張DMコード定義] - [デフォルト読み込み]

#### 操作手順

- [メニュー設定] - [拡張DMコード定義] - [デフォルト読み込み]を押します。
- [1/500] [1/1000] [1/2500] [1/5000]から、地図情報レベルを選択します。
- 個別に内容を編集した場合、[書き込み]から名前を付けて条件を保存し、[読み込み]して使えるようにします。



拡張DMコード定義のデフォルト読み込み

## 4. 地図情報レベル250による図郭設定

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

地図情報レベル 250 による図郭設定に対応しました。  
〔設定〕－〔図郭設定〕に地図情報レベル 250 を追加した図郭割りに対応しました。

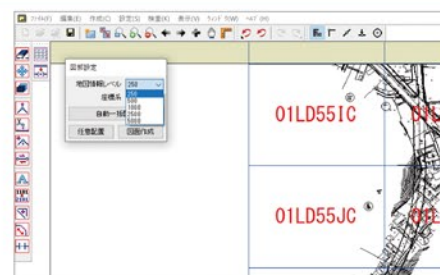
※ 拡張 DM コード設定は地図情報レベル 500 と共用です。

### 拡張DM 図郭設定 地図情報レベル250の使用

操作場所 【拡張 DM 交換ツール】－〔メニュー設定〕－〔図郭設定〕－〔地図情報レベル〕

#### 操作手順

- 1 〔メニュー設定〕－〔図郭設定〕－〔地図情報レベル〕 から〔250〕を選択します。
- 2 作業画面をクリックすると地図情報レベル 250 による図郭を配置（または既存のものは削除）でき、〔自動一括配置〕では同サイズの図郭を図形全体を含むように配置できます。



地図情報レベル 250 による図郭設定

## 登記支援 Microsoft 365® 64bit版対応

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

登記支援プログラム全般で Microsoft 365® (Office 365®) 64bit 版に対応しました。  
〔バージョン 2209〕

デスクトップ版のみ対応 ストアアプリ版は非推奨となります。

## 報酬額計算 インボイス制度対応

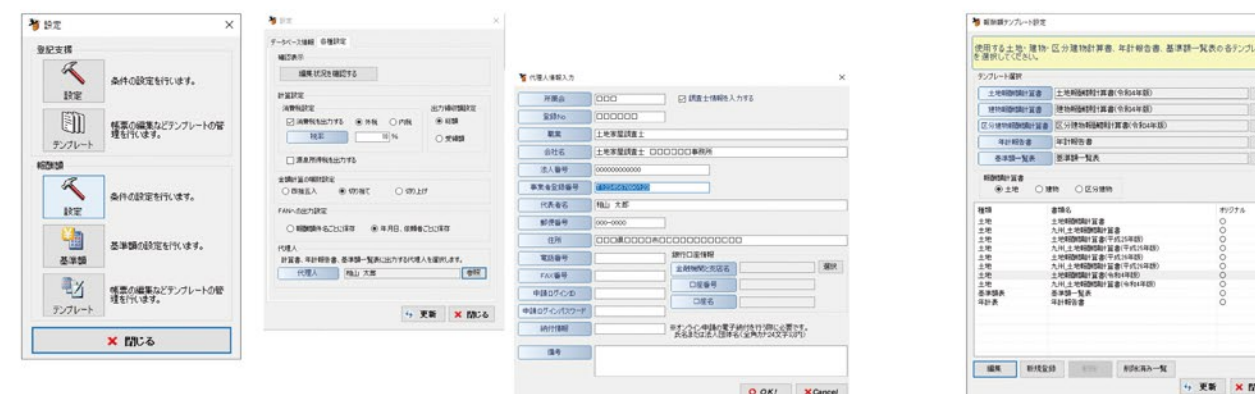
機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

国税庁 インボイス制度に対応した報酬額計算書に対応しました。

代理人情報の登録に〔事業者登録番号〕を保存できるようにし、その出力印字に対応した各請求書（報酬額計算書内に含まれます）を追加しました。

あわせて改正電子帳簿保存法に対応するため、報酬額計算書の出力〔プレビュー〕にある〔FANへ出力〕で年月日・依頼者（顧客・取引先等）別のファイル保存をできるようにしました。

年計報告書を作成する際は、〔依頼者〕や〔金額〕範囲による抽出に新たに対応し、各現場の〔現場フォルダ〕にすばやくアクセスできるようにしました。（〔FANへ出力〕によるデータを現場を跨いで確認する用途）



WingFan! 設定－登記データ設定から事業者番号を登録

各報酬額計算書  
事業者番号に対応

### ポイント ― インボイス制度とは？

国税庁は“令和 5 年 10 月 1 日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されます。適格請求書（インボイス）を発行できるのは、適格請求書発行事業者に限られ、この適格請求書発行事業者になるためには、登録申請書を提出し、登録を受ける必要があります。”とし、

(<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>)

適格請求書発行事業者公表サイト (<https://www.invoice-kohyo.nta.go.jp/>) において、取引先の登録番号に紐づけた情報を公表しています。登録番号は「T（頭文字）」+ 13 桁の数字によって構成されます。



国税庁 インボイス制度特設サイト



国税庁 電子帳簿等保存制度特設サイト

事業者登録番号の保存

操作場所 【WingFan!】 - (上メニュー) 設定 - (登記データ設定) - (報酬額：設定) - (タブ各種設定) - (代理人：参照) - (追加)

操作手順

0 前段条件 インボイス登録を済ませた後の事業者登録番号「T+13桁数字」を用意します。

1 インボイスの〔事業者登録番号〕を上記操作場所へ入力し、〔OK〕を押します。

インボイス対応請求書への切り替えと利用

操作場所 【WingFan!】 - (上メニュー) 設定 - (登記データ設定) - (報酬額：テンプレート) - 各計算書を「令和4年版」に変更 - (更新)

2 インボイス対応請求書の含まれる報酬額計算書に上記操作場所へ切り替え、〔更新〕を押します。

※ 〔●土地〕・〔○建物〕・〔○区分建物〕選択によってテンプレート一覧を見やすく表示できるよう改良しています。

3 【WingFan!】 - (現場一覧タブ) - (報酬額タブ) - (報酬額計算書) から土地・建物・区分建物の報酬額計算書データを作成します。

4 報酬額計算書で〔プレビュー〕を押すと、報酬額計算書の印刷プレビューが表示されます。画面左上の〔表示書類〕プルダウンから〔請求書(令和4年版)〕が選択できます(見積書・領収書も選択可能)。

改正電子帳簿保存法用に〔FANへ出力〕

操作場所 【報酬額計算書作業データ内】 - (プレビュー) - (FANへ出力)

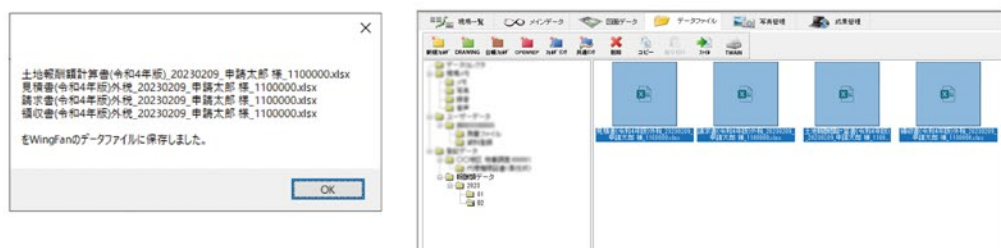
5 報酬額計算書の作業データの〔プレビュー〕画面から、〔FANへ出力〕が開きます。

6 出力設定では〔●件名ごとに保存〕と〔○年月日、依頼者ごとに保存〕が選択できます。

※ 〔○年月日、依頼者ごとに保存〕では、保存ファイルに対して下記のような自動命名がされます。

<p>● 件名ごとに保存</p> <p>フォルダ名 □□□□種 表題登記</p> <p>ファイル名</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>ファイル名</th></tr> <tr><td>土地報酬額計算書</td><td>土地報酬額計算書(令和4年版).xlsx</td></tr> <tr><td>見積書</td><td>見積書(令和4年版)外税.xlsx</td></tr> <tr><td>請求書</td><td>請求書(令和4年版)外税.xlsx</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>領収書(令和4年版)外税.xlsx</td></tr> </table> <p>保存フォルダ名と保存ファイル名：件名ごと</p>	種類	ファイル名	土地報酬額計算書	土地報酬額計算書(令和4年版).xlsx	見積書	見積書(令和4年版)外税.xlsx	請求書	請求書(令和4年版)外税.xlsx	領収書	領収書(令和4年版)外税.xlsx	<p>○ 年月日、依頼者ごとに保存</p> <p>フォルダ名 202302</p> <p>ファイル名</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>ファイル名</th></tr> <tr><td>土地報酬額計算書</td><td>土地報酬額計算書(令和4年版)_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx</td></tr> <tr><td>見積書</td><td>見積書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx</td></tr> <tr><td>請求書</td><td>請求書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>領収書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx</td></tr> </table> <p>保存フォルダ名と保存ファイル名：年月日、依頼者ごと</p>	種類	ファイル名	土地報酬額計算書	土地報酬額計算書(令和4年版)_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx	見積書	見積書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx	請求書	請求書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx	領収書	領収書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx
種類	ファイル名																				
土地報酬額計算書	土地報酬額計算書(令和4年版).xlsx																				
見積書	見積書(令和4年版)外税.xlsx																				
請求書	請求書(令和4年版)外税.xlsx																				
領収書	領収書(令和4年版)外税.xlsx																				
種類	ファイル名																				
土地報酬額計算書	土地報酬額計算書(令和4年版)_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx																				
見積書	見積書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx																				
請求書	請求書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx																				
領収書	領収書(令和4年版)外税_20230209_申請太郎 様_1100000.xlsx																				

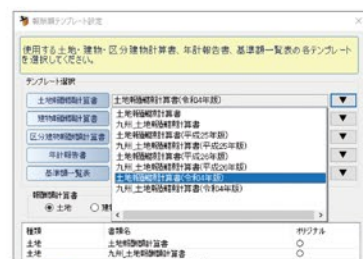
7 出力データはWingFan!の〔データファイル〕にフォルダ・ファイル整理された状態で保存されます。



7 WingFan! へ出力された報酬額計算書



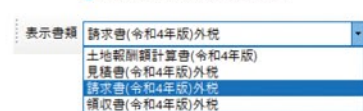
1 事業者番号の登録



2 使用テンプレートに切り替え



4 請求書等のプレビュー



4 書類の切り替え



6 FANへ出力と保存設定

オンライン申請 法人情報検索

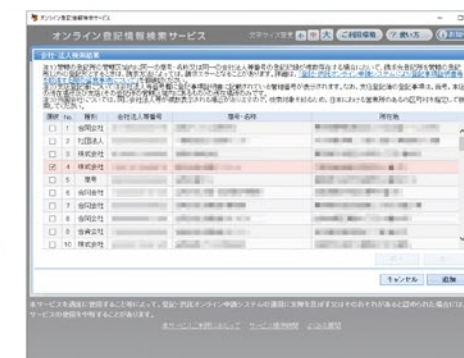
機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

登記支援のオンライン申請データ作成時、会社法人等番号の入力欄に〔法人情報検索〕〔法人情報読込〕を搭載し、インターネット上の「オンライン登記情報検索サービス」の検索結果を反映したり、一度読み込んだデータを選択できる機能を搭載しました。

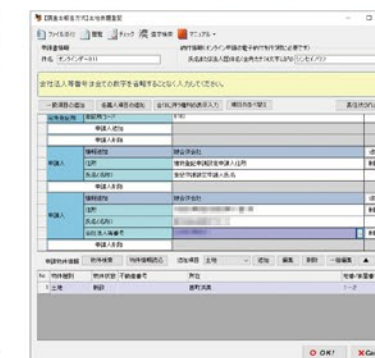
〔タブオンライン申請〕 - (新規作成) から申請種類や不動産を設定後、申請情報を編集します。上記機能は、申請人情報に〔会社法人等番号〕を〔追加〕した際、会社法人等番号の履歴データ選択で使えます。



申請データ作成と法人情報検索・読み込み



オンライン登記情報検索サービスが開き、検索



検索結果を申請データに反映

オンライン申請 法人情報検索 - 申請データの新規作成時

操作場所 【登記支援】 - (タブ オンライン申請) - (新規作成) - 申請種類・不動産選択 - (申請人)：会社法人等番号 - (追加)

操作手順

- 上記操作場所へ申請種類・不動産の選択をした後、申請データ作成画面が開きます。
- 〔申請人〕箇所の情報追加で、プルダウンから〔会社法人等番号〕を選び、〔追加〕を押します。〔会社法人等番号〕欄が追加されます。
- 〔会社法人等番号〕欄の右端〔…〕を開き、〔法人情報検索〕を開きます。ウィンドウにインターネット上の「オンライン登記情報検索サービス」が表示されます。
- サービス内で検索条件を整え「>>検索」を押すと、条件に沿った法人情報が一覧表示されます。目的の法人に〔✓〕を入れ、「追加」を押し、その後「確定」を押します。
- その結果、申請データ作成の〔会社法人等番号〕〔氏名(名称)〕〔住所〕欄にオンライン登記情報検索サービスで検索した法人の情報が反映されます。

申請人別除	
情報追加	株式会社
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
氏名(名称)	株式会社
	代表者
	代表者の電話番号
	登記簿上の住所
	登記簿上の住所を提出できない理由
	登記簿上の住所が変更の理由

2 会社法人番号の追加

会社法人等番号

3 右端の〔…〕から法人情報検索へ



4 商号・名称、地区の絞り込みなどからの検索

情報追加	株式会社	住所
氏名(名称)	株式会社	住所
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	住所
会社法人等番号		住所

5 検索した結果の反映

## オンライン申請 法人情報読込

操作場所 【登記支援】-【タブ オンライン申請】-【既存データ (編集)】-【申請人】:【会社法人等番号】-【…】-【法人情報読込】

### 操作手順

0 前段条件 先の「法人情報検索」⑤までを行っており、その履歴データを利用したい場合の操作になります。

- 1 申請データ作成画面、あるいはオンライン申請の既存データを開きます。
- 2 申請人箇所の【会社法人等番号】欄 右端の【…】を開き、【法人情報読込】を押します。
- 3 過去に法人情報検索で使用したデータが情報取得日時とともに表示されます。
- 4 【法人情報選択】により、申請データ作成画面に【会社法人等番号】【氏名 (名称)】【住所】が入力されます。



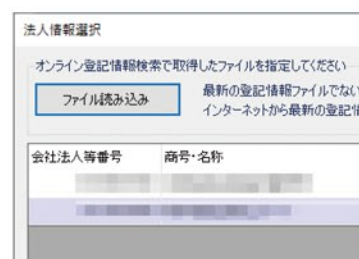
### ポイント — 法人情報読込にある【ファイル読み込み】とは？

【法人情報読込】には、上部に【ファイル読み込み】も用意しています。

これは法人情報検索で利用する「オンライン登記情報検索サービス」内には、法人情報の検索後、ファイル保存する機能も用意されており、拡張子 .tmp ファイルとして PC に保存できるため、【ファイル読み込み】はその保存ファイルを【会社法人等番号】【氏名 (名称)】【住所】に利用できる機能になります。

ただし、インターネットを介した情報とダウンロードした情報には様々な違いが可能性としてありますので、場合によっては最新の登記情報ファイルではない場合、エラーとなる可能性も含まれています。

そのため、可能な限りインターネットから最新の登記情報ファイルをダウンロードすることや、検索から取得する方法をおすすめします。



法人情報のファイル読み込み

## スケジュール管理とオンライン申請状況の確認

機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

WingFan! の現場一覧にあるスケジュール管理に、オンライン申請の状況確認により自動表示されるウィンドウに対し、時間経過で自動で閉じる設定 (秒数) を追加しました。

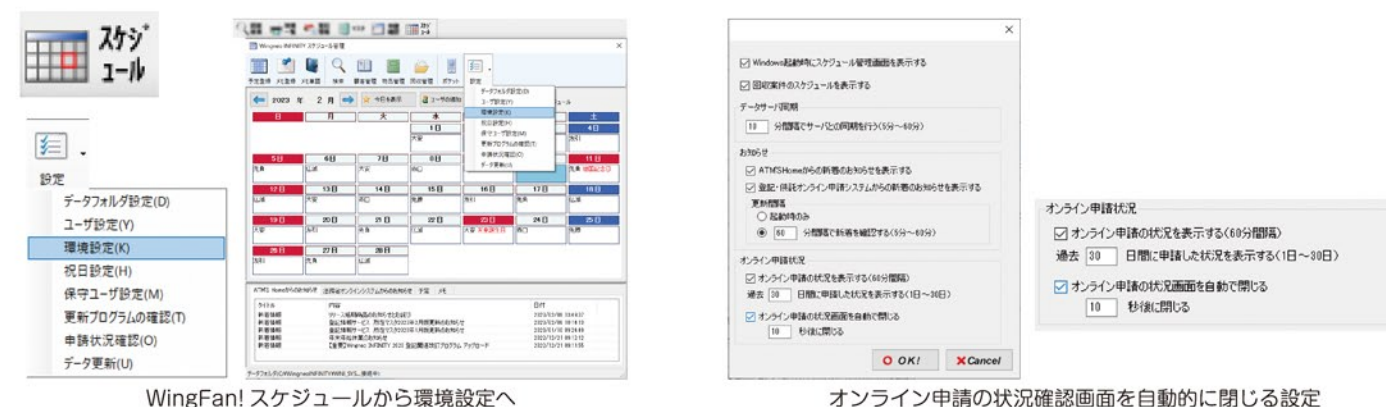
【 オンライン申請の状況を表示する (60 分間隔)】によって自動表示されるスケジュール管理を設定時間の経過時に自動的に閉じます。

### スケジュール管理でのオンライン申請状況の確認と表示時間設定

操作場所 【WingFan!】-【タブ 現場一覧】-【ボタン スケジュール】-【設定】-【環境設定】

### 操作手順

- 0 前段条件  オンライン申請の状況を表示する (60 分間隔) が ON の状態で機能します。
- 1 上記操作場所の最下部【 オンライン申請の状況画面を自動で閉じる】を ON にし、【 秒後に閉じる】で自動表示後から閉じるまでの時間を入力し【OK】を押します。



WingFan! スケジュールから環境設定へ

オンライン申請の状況確認画面を自動的に閉じる設定

## 登記情報から直接 調査報告書作成

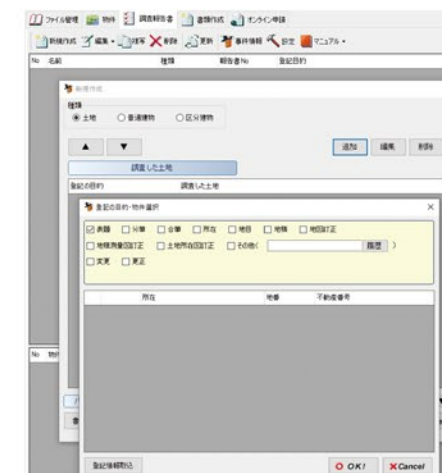
機能追加 機能改善 機能修正 測量業務向け 設計業務向け 建設業務向け 登記業務向け

不動産調査報告書を新規作成する際、ATM'S 登記情報取得サービスからダウンロードした情報をもとに基本データが作成される【登記情報取込】機能を新設しました。

【タブ 調査報告書】-【新規作成】で  土地・ 普通建物・ 区分建物を選択後、【追加】から登記の種類を選択します。

【登記情報取込】よりダウンロードしたデータの場所を指定 ( 現場・ 共通から選択) し、目的の物件データを選択します。

調査報告書に採用する物件として選択 () し、【OK】を押すと、指定雛形での指定物件による調査報告書編集に進むことができます。



### ポイント — 物件情報としても同時に登録されます

調査報告書で取り込んだ登記情報は、【タブ 物件】データとしても同時に登録されます。



不動産調査報告書の新規作成と登記情報ダウンロードの活用

## 登記情報から直接 調査報告書作成

操作場所 【登記支援】-【タブ 調査報告書】-【新規作成】:【登記種類選択】-【追加】-【登記情報取込】

### 操作手順

- 0 前段条件 【WingFan!】-【タブ 現場一覧】-【ボタン 登記情報】-【ダウンロード】から、あらかじめ物件の登記情報を取得しておきます (ATM'S 登記情報取得サービスが必要です)。
- 1 【登記支援】-【タブ 調査報告書】から【新規作成】を開きます。
- 2  土地・ 普通建物・ 区分建物から、登記の種類を選択し、【追加】をします。
- 3 物件選択画面が開いたら、下部の【登記情報取込】を押します。
- 4 表示切替で、あらかじめダウンロードした登記情報のある場所を  現場・ 共通から選択します。
- 5 目的のダウンロード情報に  を入れ、【OK】を押します。複数の選択も可能です。
- 6 物件選択画面にダウンロード情報が登録されますので、 を入れ、【OK】を押します。さらに【OK】を押し、調査報告書の編集をします。所在や地番、住所・氏名などダウンロードした物件の情報を自動設定した状態で作業ができます。

## 調査報告書 報告書番号の空き番検索

+

不動産調査報告書の編集画面に〔報告書 No〕の〔空き番号検索〕機能を搭載しました。

〔タブ調査報告書〕-〔新規作成〕や既存データの〔編集〕-〔調査報告書の編集〕の〔タブ基本情報〕(旧バージョン書式の場合は〔タブ調査報告書〕)にある〔報告書 No〕欄には、右端に〔編集〕ボタンが用意されています。

〔空き番号検索〕を押すと、INFINITY のデータサーバー(現場フォルダより大きなくくり)全体から西暦年ごとに空いている報告書番号を抽出します(現場データの数などにより最初の抽出に時間がかかる場合があります)。

赤字で表示された空き番を選択し、〔OK〕を押すことで、編集中の調査報告書に空き番の報告書 No が設定できます。

### 調査報告書 報告書番号の空き番検索

操作場所 [登記支援]-[タブ調査報告書]-[新規作成]: 登記種類選択-[追加]-[OK]-[基本情報]-[報告書 No]

#### 操作手順

0 前段条件 INFINITY のデータサーバーに複数の登記支援・調査報告書データがある場合、西暦年ごとの空き番号を抽出します。調査報告書の新規作成・既存データの編集いずれも使用できます。

- 1 調査報告書の編集画面を開きます(新規・既存いずれでも可)。
- 2 画面左のタブ〔基本情報〕の〔報告書 No〕欄 右端の〔編集〕を押します。
- 3 〔空き番号検索〕を押すと、西暦年ごとの使用番号(黒色)と空き番号(赤色)をリスト表示します。
- 4 空き番号行を選択し、〔OK〕→〔OK〕と進むと、編集中の調査報告書に空き番号の報告書 No が設定できます。



## 改善と修正

### CAD データ読み込み・書き込み 関連

#### DXF(R12) の書き込み

書き込みを実行すると CAD が強制終了する問題を修正しました。

【CAD】-〔上メニューファイル〕-〔外部ファイル書き込み〕-〔DXF(R12) の書き込み〕

#### DXF・DWG 書き込み

長いテキストの文章図形を含む図面の場合、AutoCAD®で開くとテキストの一部が文字化けすることがある問題を修正しました。

【CAD】-〔上メニューファイル〕-〔外部ファイル書き込み〕-〔DXF ファイルの書き込み〕・〔DWG ファイルの書き込み〕

#### JWW 読み込み

JWCAD の特殊文字が除去されずにそのまま配置される問題を修正しました。

全図形を囲む最小矩形の中心が用紙の中心に来るように取り込んでいたのを、Jw\_cad における用紙の中心が INFINITY の用紙の中心に来るように取り込み方法を変更しました。

【CAD】-〔上メニューファイル〕-〔外部ファイル読み込み〕-〔標準ファイル読み込み〕-JWW ファイル

#### SXF 読み込み

引出し線の文字列に文字として正しくないデータが含まれていると CAD が強制終了する問題を修正しました。

【CAD】-〔上メニューファイル〕-〔外部ファイル読み込み〕-〔標準ファイル読み込み〕-SFC・P21・SFZ・P2Z ファイル

#### SXF 書き込み

引出し線パーツの連続線の 1 点目を含み、2 点目を含まない領域による拡大図が配置された図面を〔外部ファイル書き込み〕-〔SXF ファイル書き込み〕すると、「頂点数に誤りがあります。」というエラーになる問題を修正しました。

【CAD】-〔上メニューファイル〕-〔外部ファイル書き込み〕-〔SXF ファイルの書き込み〕

### CAD SXF ハッチング 関連

#### SXF ハッチング - ユーザー定義

〔書き込み〕を実行した際の保存ファイル名を記憶するようにしました。

〔SXF ハッチング〕-〔ユーザー定義〕のハッチング線が〔データ描画設定〕-〔図形〕で「線」図形をグレイ表示に設定してもグレイ表示されない問題を修正しました。

同一現場から同一図面を〔ネットワーク〕-〔サーバー起動〕または〔クライアント起動〕にて起動を行って図面を編集したとき、〔SXF ハッチング - ユーザー定義〕の領域線が他 PC の CAD 上に表示されない問題を修正しました。

【CAD】-〔汎用 作図 2〕-〔SXF ハッチング〕-〔SXF ハッチング - ユーザー定義〕

#### SXF ハッチング属性変更

〔ハッチング - ユーザー定義〕ダイアログで〔書き込み〕を実行した際の保存ファイル名を記憶するようにしました。

〔ハッチング - ユーザー定義〕ダイアログでパターン名称を変更後に〔書き込み〕を実行すると、変更前のパターン名称をファイルに書き込む問題を修正しました。

【CAD】-〔上メニュー コマンド〕-〔旧: 汎用コマンド〕-〔SXF ハッチング〕-〔SXF ハッチング属性変更〕

#### SXF ハッチング - 塗り / ユーザー定義 / パターン

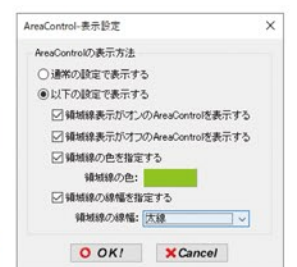
座標系が縦横異縮尺 (SXF 準拠) の場合に〔図形指定〕と〔閉合指定〕モードにおいて、図形・領域が正しく選択されない場合がある問題を修正しました。

【CAD】-〔汎用 作図 2〕-〔SXF ハッチング〕-〔SXF ハッチング - 塗り・ユーザー定義・パターン〕

#### AreaControl- 表示設定

ダイアログ内のコントロールの文言やレイアウト等を変更しました。

【CAD】-〔上メニュー コマンド〕-〔旧: 汎用コマンド〕-〔SXF ハッチング〕-〔AreaControl- 表示設定〕



## 汎用コマンド 関連

### CAD 図面出力

地籍簿等の帳票を CAD 図面出力した際に、登記住所等の長い文字列の項目の折り返し位置が正しくない問題を修正しました。

【地籍調査】-【メニュー】調査情報-既存ワーク (印刷)-【計算書出力】-【地籍簿】-【外部出力】-【CAD 図面ファイル】

### 部品配置・方位配置

標準データを削除できてしまう問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 作図 1】-【部品】-【一覧選択】-【地形記号 1/500】-図形選択 (データの削除)

### 部品配置

縦もしくは斜めに 2 点配置された配置基準点を持つ部品をミラーで配置する際にラバーの表示と異なる位置に配置されてしまう問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 作図 1】-【部品】-【一覧選択】-【パーツ】-【ミラー設定】-配置

### 文字フォントの描画

TP1 にて英文プロポーショナルフォント (Arial 等) の描画処理時に 2 文字目以降の表示位置が文字高方向にずれる場合があった問題を修正しました。

### 文字配置等

文字配置時の確認描画や再描画時の表示速度が遅くなっていた問題を改善しました。

文章の中に空白行があった場合に、空白行が詰められていた問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 作図 1】-【文字】-文字入力-CAD 配置

### 割込みコマンド

【路線検索&確認】コマンドで、垂線ワークと拡幅ワークが同時に作図されている場合、【全てのワーク】を選択しても拡幅ワークが表示されない問題を修正しました。

【CAD】-【路線割り込みバー (割り込みコマンド 2)】-【路線検索&確認】

### 割り込み計算 - 垂線

割り込み計算の【垂線】で丸め設定の【求点の登録丸め】を【フル桁】以外に設定した場合に、交点位置が直線内にあるにもかかわらず「直線外」と表示されてしまう問題を修正しました。

【CAD】-【割り込み計算バー】-【垂線】-【丸め条件】

### 拡大図

拡大図を配置中にページ数の多い既存図面を開くと CAD が強制終了する問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 編集】-【拡大図】

### 寸法

【寸法線条件設定】-【半径 / 直径寸法線】-【寸法文字設定】の 2 段目の条件が度分秒になっていた問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 作図 2】-【寸法】-【寸法線条件設定】-【寸法】-【半径 / 直径寸法線】-【寸法文字設定】

### スプライン

3 点の入力による開放型スプライン曲線の終端部分が丸くなる問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 作図 1】-【曲線】-【スプライン】

### 特殊線

【特殊線配置】コマンドを起動した際に、【円弧】のチェックボックスがグレー表示になり、選択できない問題を修正しました。

特殊線タイプに「19: 防護柵」を選択し、【円弧】にチェックを付けて配置した場合、両端の被開部の円弧と補助記号の円が正しい位置に作図されない問題を修正しました。

「43: 防護さく 1」、「46: 鉄柵 3」でピッチ継続をオンにした場合、折れ点に○または × が配置され、ピッチが正しく継続されない問題を修正しました。

【CAD】-【汎用 作図 1】-【特殊線】

## CAD 環境 関連

### スナップ状態

【環境設定】-【システム設定】-【表示設定: 新規図面用】タブの【半角文字を全角扱いとする】と、【アプリケーションの動作設定】タブの【スナップ点検索を別スレッドで行なう】を有効にした状態で、端点スナップ有効時に文字編集で既存文字を移動していると強制終了する場合があった問題を修正しました。

【CAD】-【メニュー】ファイル-【環境設定】-【システム設定】

### レイヤーバー

長い名称を持つレイヤが【レイヤーバー】に表示しきれていない場合に、カーソルを合わせるとそのレイヤ名が表示されるよう改善しました。

【CAD】-【メニュー】表示-【レイヤーバー】

### 図形選択 - 条件指定

【図形選択 - 条件指定】で【文字高条件】を選択し、種別で「以上」「以下」「より大きい」「より小さい」を選択した場合に、選択図形の数検索条件と一致しない問題を修正しました。

【CAD】-【メニュー】編集-【図形選択 - 条件指定】

### 座標系の設定 (1 点指定)

【座標系コマンド】-【座標系の設定 (1 点指定)】時、【角度】の表記が度分秒表記であるにもかかわらず秒数部分が「60」と表示される場合があった問題を修正しました。

【CAD】-【メニュー】座標系-【座標系の設定 (1 点指定)】

### 座標系リスト

【座標系リスト】の【角度】の表記が度分秒表記であるにもかかわらず秒数部分が「60」と表示される場合があった問題を修正しました。

【CAD】-【メニュー】座標系-【座標系リスト】

### ショートカットキー設定

【ショートカットキー設定】にて【プリンタ出力】-【範囲指定出力】のコマンドを登録したキーを押すと、エラーが表示され、実行できない問題を修正しました。

Windows<sup>®</sup> の設定の「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」をオフに設定している場合にショートカットキーの設定を行い、一部のコマンドで割り当てたキーを押しても正しく動作しない問題を修正しました。

【CAD】-【メニュー】ファイル-【環境設定】-【ショートカットキー設定】

## CAD 測量基本 関連

### 簡易断面

【簡易断面配置】時、平行型を除く円・円弧を含む構造物 (ガードレールなど) を選択し、縦横異縮尺で簡易断面を配置すると、地盤線以外の図形が正しく作図されない問題を修正しました。

【簡易断面配置】時、簡易断面を【LH 指定モード】で作成し、「地盤高 0m を除外」にチェックを入れて簡易断面を配置した場合に、寸法線が正しい位置に作成されない問題を修正しました。

また、簡易断面作成時に、寸法線を設定し、設定した寸法線を削除する際、ビュー上で必ず左側の寸法線が最初に選択され任意の寸法線が選択できない問題を修正しました。

【簡易断面変更】において、32 ビット版 / 64 ビット版が異なる状態で保存した簡易断面を含んだ図面に対して、簡易断面変更にて選択した場合に強制終了する問題を修正しました。

【CAD】-【メニュー】コマンド-【旧: 測量コマンド】-【旧: 測量コマンド】-【現況図形 1】-【簡易断面配置】・【簡易断面変更】

### プロットマーク削除 & 変更 & 追加

プロットマークを【追加】【多角追加】【座標一覧選択】で追加し、【他データ DM コード設定】コマンドで変換したときに、高さのデータが反映されない問題を修正しました。

【測量基本 CAD】-【汎用 作図】-【プロット】-【プロットマーク削除 & 変更 & 追加】

### プロットマーク情報配置 (多点)

[文字を白抜きする] チェックボックスが表示されていない問題を修正しました。

【測量基本CAD】- [用地作図] - [プロット] - [プロットマーク情報配置 (多点)]

### プロット 点・杭属性配置 (1点)

[点・杭属性配置 (1点)] を起動すると、上部のコマンド説明表示に「プロットマーク情報配置」のメッセージが表示されてしまう問題を修正しました。

【測量基本CAD】- [用地作図] - [プロット] - [点・杭属性配置 (1点)]

### 区画交換

配置してある区画数が多い図面にて一度に区画交換を実行すると、かなりの時間がかかる問題を修正しました。

【測量基本CAD】- [用地作図] - [区画] - [区画削除&交換&追加] - [交換]

### 求積表配置・面積一覧表配置

帳票アイテム「#1013:公簿地積」が表示されない問題を修正しました。

【測量基本CAD】- [用地作図] - [表配置] - [求積表配置]・[面積一覧表配置]

### 確測図作成

ユーザー図枠にアイテム「[#6002] 確測図:座標系番号」を配置して確測図を作成すると、座標系番号が一つ小さい番号で出力される問題を修正しました。

【測量基本CAD】- [用地部分図] - [確測図] - [確測図パラメータ変更] - [図枠設定] - [ユーザー図枠を配置]

### 等高線配置

3点の入力による開放型スプライン曲線の終端部分が丸くなる問題を修正しました。

【測量基本CAD】- [用地作図] - [等高線] - [等高線配置]

## 測量基本ルート 関連

### データビュー設定

区画の[色塗り設定]で「塗り〇」にした種別の区画にペンアップがあると、境界線が描画されていなかった問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 条件設定] - [データビュー設定] - [色塗り設定]

### 入力シート上での数値入力

座標管理や計算ワークの様な入力シートの実数値を入力できる項目において、小数点を入れてもその桁以降の内容が残ったままになっていた問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 座標管理] - [座標入力・訂正]

### SIMA 入力

点名にアポストロフ「'」が含まれているファイルを読み込むと正しく取り込まれていなかった問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 外部データ] - [入力:SIMA ファイル]

### 区画入力

区画入力時に[点名+] または [点名-] のチェックボックスにチェック入れると「パラメーターが間違っています。」とエラー表示される問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 区画結線] - [区画入力・訂正] - 新規または既存データ [点名+]・[点名-]

### 区画一覧

[区画一覧] で三斜を設定した区画をダブルクリックして表示される区画入力画面にて、「属性」のどの項目を変更しても、「OK」をクリックして「区画一覧」画面に戻ると、三斜面積の表示が座標面積の表示と同じ値になってしまう問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 区画結線] - [区画入力・訂正] - ダブルクリックによる [区画入力]

### 法務局 KML 取り込み

法務局 KML ファイルを取り込んでデータビューに座標、区画が表示されない問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 外部データ] - [法務局 KML 取り込み]

### 座標面積計算書・区画情報データ等

帳票アイテム「#1013:公簿地積」が表示されない問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 区画結線] - [区画入力・訂正] - 既存データ選択 [印刷] - [座標面積計算書]

### 座標面積 (座標法)

座標面積 (座標法) の帳票に「[8115] 共通プロットマーク」の「[18115] プロットマーク (図形)」を配置して計算書を [CAD 図面ファイル] に出力すると、プロットマークの中心の点が抜けてしまう問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 区画結線] - [区画入力・訂正] - 既存データ選択 [印刷] - [座標面積計算書] - [外部出力] - [CAD 図面ファイル]

### 結合トラバース・閉合トラバース・開放トラバース

結合トラバースの終点取り付けに関する夾角の作図ができていなかった問題を修正しました。

ワーク製図において、主路線の最初の夾角を作図する際に参照する条件を「取り付け観測」の設定に従う様に変更しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 多角計算] - 既存データ選択 [結合トラバース] - [製図] - [製図条件]

### 土地登記申請書

[印字条件] から土地申請書出力条件の設定変更を行っても、次に [土地登記申請書作成] ワークに入ると変更した設定が反映されず、出荷時の設定に戻ってしまう問題を修正しました。

【測量基本ルート】- [メニュー 文書] - [土地登記申請書作成] - [印字条件]

## 線形・路線設計支援ツール 関連

### IP 法 計算書・中間点名

複合卵型 2点指定のワークの計算書を出力したときに、2点目の IP 点名が表示されるべき箇所が空欄で表示される問題を修正しました。

※計算書に表示されない場合には、[中間点再計算] を実行後に計算書の出力を行ってください。

複合卵型 2点指定で N 入力のワークを作成したときに、クロソイドの中間点名が正しく表示されない問題を修正しました。

【路線計算ルート】- [メニュー 路線計算] - [IP 法] - [IP 点データ:複合卵型]

### 要素法

要素法で役杭データを入力した際に、中間点データの終点の接線方向角の値が 0 になってしまう問題を修正しました。

※0 で表示されている場合には、[中間点再計算] を実行してください。

【路線計算ルート】- [メニュー 路線計算] - [要素法] - [中間点再計算]

### 比較計算

比較計算実行時に追加距離・区間距離が正しい値から大幅にずれて表示される場合がある問題を修正しました。

【路線計算ルート】- [メニュー 路線計算] - 既存路線ワーク選択 [比較計算]

### 路線 3D 設計支援ツール

[横断計画設定] コマンドで、[使用する計画データ] を [横断計画設定] に設定し、測点に横断計画データを設定しても条件名称の項目に反映されない問題を修正しました。

[区画取込&削除] コマンドで [削除] に切り替え、区画情報が設定してある区画上にマウスカーソルを移動すると、ツールチップに所有者氏名が文字化けして表示される問題を修正しました。

【路線計算ルート】- [メニュー 路線計算] - 既存ワーク [設計支援 3D] - [横断計画設定]・[区画取込 & 削除]

### 線形 CAD 新規路線作成

[路線情報設定] ダイアログの [設計速度] の入力欄で右クリックした際にポップアップメニューが表示されない問題を修正しました。

【線形 CAD】- [路線 設計支援] - [新規路線作成] - [路線情報設定]

### 線形 CAD 要素一覧表配置

表を配置後、表の「野線」「固定文字」「項目文字」に指定されたレイヤーに属する図形がレイヤー表示 SW に従って表示されない問題を修正しました。

【線形 CAD】- [路線 要素表] - [要素一覧表]



## 縦横断 関連

### 縦断野帳 観測データの SIMA ファイル書き込み

【縦断観測 SIMA ファイル 書き込み】を実行してもデータが書き込まれない問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】野帳入出力 -【縦断野帳】-既存データ選択【ファイル入出力】-【縦断観測 SIMA ファイル 書き込み】

### 縦断野帳

【縦断野帳観測手簿】【縦断野帳成果表】において、印刷時に文字化けしてしまう問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】野帳入出力 -【縦断野帳】-既存データ選択【帳票出力】-【観測手簿】・【成果表】

### 縦断データ入力

現況データがない状態で、【計算結果データ】を印刷しようとする、ワークが終了してしまう問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】縦断 -【既存ワーク内【印刷】】-【計算結果データ】

### 縦断野帳 成果表

【縦断野帳】で役杭名称が空になっていた場合に自動で作成される測点名に想定外の文字が入ってしまう問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】野帳入出力 -【縦断野帳】-既存データ選択【帳票出力】-【成果表】

### 横断入力：帳票フォーマット

【横断入力：帳票フォーマット】で登録状態を【既存路線に上書】、重複データ処理を【測点名・追加距離が一致するデータは上書】に設定したときに、測点名が一致するデータが上書きされず新規に登録されてしまう問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】横断 -【メニュー】外部データ -【横断入力：帳票フォーマット】

### 横断座標登録

横断現況の【座標登録（路線単位）】ダイアログで【接頭文字を断面単位で設定する】にチェックを付けて接頭文字を設定後に【OK】をクリックすると、接頭文字が設定されていない旨のメッセージが表示される問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】横断 -【座標登録】

### 縦横断作図条件

縦横断の作図条件にて条件ファイルを読み込んだ際、用紙サイズが異なる場合に【タブ用紙・共通】タブの【用紙・縮尺条件】にて用紙サイズの【縦】と【横】の値が更新されない問題を修正しました。

【縦横断ルート】-【メニュー】条件設定 -【縦断作図条件】・【横断作図条件】

### 縦断 CAD 測点 SW

縦断表の配置図面で【測点 SW】を起動し、文字を一括で「×」に変更してから【OK】を押すと強制終了する問題を修正しました。

【縦断 CAD】-【横断 設定】-【測点 SW】・【横断作図条件】

### 横断 CAD DXF 変換

【DXF 変換】を起動し、【新規路線】をクリックして路線を作成する際、中心点データを入力して断面を登録すると CAD が強制終了する問題を修正しました。

【縦断 CAD】-【横断 編集】-【DXF 変換】

### 横断 CAD 条件設定

既存の横断図面で【条件設定】コマンドを起動し、断面の配置先ページのセルで「0」または空文字列を入力後に Enter キーを押すと、プログラムが強制終了することがある問題を修正しました。

【横断 CAD】-【横断 編集】-【条件設定】・【横断作図条件】

### 横断 CAD 数量表配置

【数量表配置】コマンドで、【配置モード：個別配置】【配置方法：任意配置】【表の基準：中心以外】に設定して配置を実行する際に、ラバーが正しく描画されない問題を修正しました。

【横断 CAD】-【横断 数量表】-【数量表配置】・【横断作図条件】

## 基準点計算・水準測量 関連

### 厳密網平均計算・簡易網平均計算

【厳密網平均計算】ワークから【製図】ボタンをクリックして、【精度管理表【平均】】で網図作成したときに「Mv=」の値の末尾に「f」が表示される問題を修正しました。

【基準点ルート】-【メニュー】基準点計算 -【既存ワーク【厳密網平均計算】-【製図】-【精度管理表【平均】】

### 水準野帳ワーク

データ取り込み項目の【CSV 取り込み】で「CSV：SOKKIA SDL30」を選択したときに取り込みのダイアログが出現しない問題を修正しました。

【水準測量ルート】-【メニュー】水準野帳 -【既存ワーク【CSV 取り込み】-【CSV：SOKKIA SDL30】

### 水準網ワーク

水準網ワークの【平均計算】実行時に、条件を満たしている網路線がエラーと判定されてしまう問題を修正しました。

【水準測量ルート】-【メニュー】水準測量 -【既存ワーク編集【水準網ワーク】-【平均計算】

## 地籍調査システム 関連

### 筆界一覧 筆の情報を測量計算の区画情報へ登録

複数クライアントで同一現場編集に【外部】-【筆の属性を「測量計算」の区画情報へ登録】を実行した場合、更新通知が正しくされず、他のクライアントの区画情報が更新されない問題を修正しました。

【地籍ルート】-【メニュー】筆界設定 -【筆界一覧・訂正】-【外部】-【筆の属性を「測量計算」の区画情報へ登録】

### 地図番号

地図番号を肩符で分解して印刷する箇所、肩符と区画番号が正しく印字されない問題を修正しました。

【地籍ルート】-【メニュー】面積計算 -【地図索引簿】

### 網計算 点検測量

【点検測量：精度管理表】、【点検測量：観測手簿・記簿】で水平距離による点検に対応しました。

【地籍ルート】-【メニュー】網計算 -【点検測量】-【点検距離：水平距離】

### 厳密網平均計算

【厳密網平均計算】ワークから【基準点成果表（新点座標）】を作成した際、出力された成果表において新点の順番がワークの並びと異なる問題を修正しました。

【地籍ルート】-【メニュー】網計算 -【既存ワーク選択【厳密網平均計算】-【印刷】-【計算書出力】-【基準点成果表（新点座標）】

### 図根点 結合トラバース・閉合トラバース

【結合トラバース】の終点取り付けに関する夾角の作図ができていなかった問題を修正しました。

多角点製図でのワーク製図において、主路線の最初の夾角を作図する際に参照する条件を【取り付け観測】の設定に従う様に変更しました。

【地籍ルート】-【メニュー】図根点 -【既存ワーク選択【図根測量（結合）・（閉合）】-【製図】

### 一筆地 結合トラバース・閉合トラバース・開放トラバース

【結合トラバース】の終点取り付けに関する夾角の作図ができていなかった問題を修正しました。

ワーク製図において、主路線の最初の夾角を作図する際に参照する条件を【取り付け観測】の設定に従う様に変更しました。

【地籍ルート】-【メニュー】一筆地 -【既存ワーク選択【一筆地測量（結合）・（閉合）・（開放）】-【製図】

## 拡張 DM 変換ツール・CAD DM 関連

### CAD DM 図郭割

〔図郭割〕で変更を加えずにコマンドを終了した後、〔外部ファイル書き込み〕-〔DM(旧)ファイルの書き込み〕-〔ファイル情報の設定〕ダイアログの「図郭レコード(e)」の座標値が書き換わってしまう問題を修正しました。

【測量基本 CAD】-〔用地 DM〕-〔図郭割〕

### コード内容の修正

点データで文字を表示するコードの一部で表示位置がずれる問題を修正しました。対象のコードは以下の通りです。  
「6231:採石場」「6232:土取場」「6233:採鉱地」「6340:砂れき地(S)」「6341:砂地(S)」「6342:れき地(G)」  
また、〔設定〕-〔拡張 DM コード定義〕で「7212:露岩」「7213:散岩(E2)」「7214:さんご礁」の図式の詳細部分にあるピッチ「C」の長さを変更した際、長短が逆転したように描画されていた問題を修正しました。

【拡張 DM 変換】-〔メニュー 設定〕-〔拡張 DM コード定義〕

### オブジェクトプロパティ

標高値を設定できる DM コードを選択し、右クリック〔オブジェクトプロパティ〕で標高値を設定後、再度〔オブジェクトプロパティ〕で標高値を設定しても標高値が更新されない問題を修正しました。

【拡張 DM 変換】-図形の選択-右クリック〔オブジェクトプロパティ〕-〔標高値〕

### 間断設定

〔間断設定〕コマンドで連続線の間断を設定する際に、ユーザー側で選択することができないデータが発生してしまう問題を修正しました。また、この問題によって発生したデータを矩形選択で選択できるよう修正しました。

【拡張 DM 変換】-〔メニュー 編集〕-〔間断設定〕

### 開く

ラスタ(背景)の設定をして保存したファイル(.KDF)を開くと強制終了する問題を修正しました。

【拡張 DM 変換】-〔メニュー ファイル〕-〔開く〕

### ショートカットキー

Windows<sup>®</sup>の設定の〔以前のバージョンの Microsoft IME を使う〕をオフに設定している場合にショートカットキーの設定を行い、一部のコマンドで割り当てたキーを押しても正しく動作しない問題を修正しました。

【拡張 DM 変換】-〔メニュー 設定〕-〔ショートカットキーの設定〕

### コマンド履歴の表示名

コマンド履歴に表示されるコマンド名が長い場合、途中までしか表示されない問題を修正しました。

【拡張 DM 変換】-図形選択をしていない状態で〔右クリック〕

## 測量基本ツール・建物 関連

### ATM'S Home 連携

ATM'S ホームページを ATM'S Park から ATM'S Home に変更しました。

【測量基本ルート】-〔基本メニュー〕-〔ATM'S サポート〕



### データコレクタ

〔点番モード〕に切り替えた状態で〔座標データ送出〕(APA-SIMA 等)を行う際に、点番文字が無効な文字として検出されてしまい座標送出できない問題を修正しました。

〔座標データ取込〕を行う際に、「点番未指定時の登録動作」で「新規に登録」の項目を選んでいても座標管理に登録されていなかった問題を修正しました。

【測量基本ルート】-〔メニュー ツール〕-〔データコレクタ〕-〔座標データ送出〕・〔座標データ取込〕

### 帳票ツール・印刷プレビュー

文字幅比率が 1 以外の時に文字幅が正しく反映されていなかった問題を修正しました。

【測量基本ルート】-〔メニュー ツール〕-〔帳票ツール〕-帳票を開く-〔ボタン 印刷プレビュー〕

### スキャンショット

〔図面座標設定〕の〔多点(ヘルマート変換)〕で、変換確認の最大残差の表示を計算書の「移動量」の最大値に変更しました。(計算結果には影響しません。)

【測量基本ルート】-〔メニュー ツール〕-〔スキャンショット〕-作業ファイルを開く-〔メニュー 設定〕-〔図面座標設定〕

### 区画構成点チェック

区画チェックから除外される条件(2つの区画で一边を共有して一方の区画がもう一方の区画の中にある場合)に該当する一部の区画がチェックの対象となり正常な判定ができなくなっていた問題を修正しました。  
また正常な区画が赤色の隣接エラーで表示されてしまう場合がある問題を修正しました。

【測量基本ルート】-〔メニュー ツール〕-〔区画構成点チェック〕-〔ボタン 区画チェック〕

### 製品仕様書作成ツール

〔タブ 5. 参照系〕の鉛直座標系の単位以外の項目を変更後、入力フォーカスを移動しないで〔メニュー 出力〕-〔空間データ製品仕様書(.doc)の出力〕を実行すると、変更前の内容が出力される問題を修正しました。

〔タブ 5. 参照系〕の鉛直座標系の単位を変更しても設定されない問題を修正しました。

【WingFan!】-〔タブ 現場一覧〕-現場選択〔メニュー ツール〕-〔製品仕様書作成〕

### 建物 形状入力・面積計算(自動分割/任意編集)

〔形状入力〕で〔吹き抜け〕のデータが空の場合でも入力が完了できてしまう問題を修正しました。また、空の吹き抜けデータが存在する場合に面積計算処理を実行した際に INFINITY が強制終了してしまう問題を修正しました。

【建物ルート】-〔形状入力〕-〔形状追加〕-〔吹き抜け〕

### 展開図 CAD

CAD〔展開図 条件設定〕内の〔舗装展開図〕、〔法面展開図〕、〔擁壁展開図〕、〔ヘロン展開図〕、〔混合展開図〕コマンドの<線条件>><文字条件>シート下方のグレーになっている行を右クリックすると、CAD が強制終了する問題を修正しました。

【展開図 CAD】-〔展開図 条件設定〕-〔舗装展開図〕・〔法面展開図〕・〔擁壁展開図〕・〔ヘロン展開図〕・〔混合展開図〕

## WingFan! 関連

### 現場一覧タブ

〔タブ 現場一覧〕において、表示が縦型一覧の際に、並べ替えや表示速度が以前に比べて遅くなる場合があったのを改善しました。

〔タブ 現場一覧〕の画面にある〔図面〕、〔登記〕、〔報酬額〕のタブのクリック時に「無題のファイルのシークに失敗しました。」と表示される問題を修正しました。

【WingFan!】-〔タブ 現場一覧〕

### メインデータタブ

〔タブ メインデータ〕-〔タブ 縦横断〕で路線を選択した時に、WingFan! が強制終了する場合がある問題を修正しました。

【WingFan!】-〔タブ メインデータ〕

### 図面データ エクスポート

〔タブ 図面データ〕の〔図面エクスポート〕を使い、〔ファイルタイプ〕に DAT を指定して複数の図面をエクスポートした場合、最後の図面のみが書き込まれる問題を修正しました。

【WingFan!】-〔タブ 図面データ〕-既存図面の選択-〔エクスポート〕-〔全ファイル変換〕-〔ファイルタイプ: DAT〕

### 成果管理タブ

〔タブ 成果管理〕で、SXF ファイル(P21/SFC)を成果テンプレート〔土木設計・測量電子納品 R3〕等の「設計図面」へドラッグ・ドロップした際に、長時間待たされる問題を改善しました(特に P21 ファイル)。

【WingFan!】-〔タブ 成果管理〕-〔土木設計・測量電子納品 R3〕-〔設計図面〕フォルダ

## 電子納品 関連

### 成果ダイレクト電納 要領対応・テンプレート追加

国土交通省 土木設計業務等の電子納品要領 令和 4 年 3 月に対応しました。

また、成果テンプレートツールに「土木設計・測量電子納品 R4.@FT」を追加しました。

【WingFan!】-〔タブ 成果管理〕-〔切替〕-〔土木設計・測量電子納品 R4〕

## +

 CAD 製図基準対応

CAD 製図基準「国土交通省 測量成果電子納品要領 令和 3 年 3 月」を追加しました。

【WingFan!】- [タブ 現場一覧] - [ボタン 新規作成] - [OK] - [現場情報の設定] - [CAD 製図基準]

## ✎

 電子納品データ出力

電子納品出力画面で、[バックアップ削除] を実行した際に WingFan! に戻ってしまっていた問題を修正しました。

電子納品データ出力時に DRAWING 等が含まれている場合に、電子納品ツール上の作成者名に図面名が登録されてしまっていた問題を修正しました。

【WingFan!】- [タブ 成果管理] - [測量電子納品] 等 - [電子納品データ出力] - [バックアップ削除]

## ✎

 電子納品編集ツール

電子納品編集ツールで測量成果一覧が正しく読み込めない不具合を修正しました。

電子納品の出力時にエラーが出る問題を修正しました。

【WingFan!】- [タブ 成果管理] からの電子納品データ出力後 - [電子納品編集ツール] - [メニュー ファイル] - [電子納品出力]

## 現場観測ツール 関連

### ✎ Pocket-Neo Series メニュー

INFINITY からの横断データの転送で既存路線の同一測点を上書きする場合、Pocket-Neo Series 側に存在しない測点が追加距離に従った位置に挿入されない問題を修正しました。

【WingFan!】- [ボタン PocketNeo] - [Pocket-Neo Series メニュー] - [新規現場] - [横断データを転送] - [既存路線：同一測点は情報を上書き]

### ✎ Pocket-Neo Series メニュー・Pocket-Neo Series(USB) メニュー

横断データの取り込みで [既存と一致するものは上書きし、一致しないものを新規登録する] を指定した場合、正しく取り込まれないことがある問題を修正しました。

【WingFan!】- [ボタン PocketNeo] - [Pocket-Neo Series メニュー] - [取込] - [横断データを取り込む] - [既存と一致するものは上書きし、一致しないものを新規登録する]

### 電子平板 TS 通信

+

 TS 通信条件設定の接続機種名に [Leica(TS07)] を追加しました。

↑ TOPCON 社の TSShield のサービスの終了に伴い、LN-100 への接続時に TSShield の状態のチェックを行わないようにしました。

【INFINITY 電子平板】- [メニュー システム] - [TS 通信条件] - [Leica(TS07)]

### ✎ 電子平板 対回観測

[対回観測 (新規)] コマンドにおいて、[測定] ボタンをタップし、手入力で各視準点の観測データを入力したときに、強制終了する問題を修正しました。

【INFINITY 電子平板】- [メニュー 観測] - [対回観測 (新規)] - 器械設置の設定後 [測定] (手入力)

### ✎ 電子平板 連続線

[連続線] コマンドの [プロットマーク結線] にチェックを入れてプロット点をクリックすると強制終了する問題を修正しました。

【INFINITY 電子平板】- [メニュー コマンド] - [汎用コマンド] - [線] - [連続線] - [プロットマーク結線]

### ✎ 電子平板 プロット変更

[プロット変更] コマンドにて対角または多角形で指定したプロットマークのブロックに複数のプロットマークパーツが存在していた場合、プログラムが強制終了する問題を修正しました。

【INFINITY 電子平板】- [メニュー コマンド] - [測量コマンド] - [プロットマーク] - [プロット変更]

### ✎ MobileNeo 観測作図

[観測作図] の属性一覧の各項目に DM コードや属性名が表示されない問題を修正しました。

【MobileNeo】- [メニュー 観測] - [放射観測] 等 - [観測作図]

## ✎ WingField-GT

同期設定画面で [背景の追加] から [画像読み込み] で「.png」ファイルを選択し、2 点配置で確定すると強制終了する問題を修正しました。

【WingFan!】- 現場選択 [ボタン WingField-GT] - [新規現場転送] - [背景の追加]

## 登記支援 (追加プログラム) ・ 登記情報ダウンロード 関連

### ↑ ATM'S Home 連携

[保守ユーザ設定] や [Q&A] 等、ATM'S Home に対応しました。

【WingFan!】- [メニュー 設定] - [保守ユーザ設定] / 【登記支援】- 各タブ [マニュアル] - [Q&A]

### ↑ 環境対応

Microsoft® Edge に対応しました。

### ✎ 報酬額計算

一部「更正」が「更生」と誤って記載されているのを修正しました。

### ✎ 登記支援 ファイル管理

図面 XML ファイルの表示において、文字が回転して表示される場合がある現象を修正しました。

【登記支援】- [タブ ファイル管理] - 図面 XML ファイルのプレビュー

## +

 オンライン申請

2022 年 12 月 19 日 (月) の法務省不動産登記申請書様式の改訂に伴い、連件申請の登録免許税一括納付に対応しました。

【登記支援】- [タブ オンライン申請] - [申請] - [連件申請] - [一括納付を希望する]

### 登記情報ダウンロード

↑ 2022 年 3 月 7 日 (月) より一般財団法人 民事法務協会が運用を開始した登記情報提供サービスのシステム更新に対応しました。

✎ 2022 年 4 月 4 日 (月) に発生しました、登記情報のダウンロード及び地番家屋番号の検索に失敗する現象を修正しました。

✎ 登記情報提供サービスのパスワード有効期限が 15 日になった場合、ログインできない現象を改修しました。

【WingFan!】- [タブ 現場一覧] - [ボタン 登記情報] - [ダウンロード]

Memo

# 全国の登記所備付地図の電子データの無償提供開始

全国の登記所備付地図の電子データ\*がG空間情報センターを通じて無償で一般公開されました。

## \*登記所備付地図の電子データとは

不動産登記法(平成16年法律第123号)第14条第1項及び第4項に規定する地図及び地図に準ずる図面に係る電子データをいいます。登記所でコンピュータシステムによる事務の処理を可能とする地図情報システムに入っているデータであり、データの形式は加工が可能な地図XMLフォーマットです。(法務省HPより抜粋)

法務省(発表資料)

[https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05\\_00494.html](https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00494.html)



G空間情報センター(発表資料)

<https://front.geospatial.jp/news/2023/01/2136/>



## Wingneo® INFINITY2024で地図XMLを直接取り込み

操作動画あります!

格段効率UP!!

任意座標系

公共座標系

自由に活用

出典「登記所備付データ横浜市」(法務省)(<https://www.geospatial.jp/ckan/organization/moj-14kanagawa>)を加工して作成

## オプション価格

地図XML  
入出力オプション

標準価格¥200,000-

(税込価格¥220,000-)

※測量基本システムにて地図XML入力が可能です。地図XML出力をする際は地籍調査システムが必要です。

WingNeo®

INFINITY 2024

広告 PR お知らせ



## ライセンスのオンライン認証

# 2023年6月登場

## dongルレス認証が可能に! ライセンス転送が可能に!

dongルレス認証は、インターネット上の「Aisanサーバー」から、INFINITYのライセンスを自身のPCにアクティベーションします。アクティベーション後、Aisanサーバーを介して別のPCにライセンスを移す「リホスト機能」が搭載され、物理的にHASP発送などをすることなく作業PCへとライセンス認証を変更できます。

登録事業所単位・有償で  
dongルレスタイプを導入可能に

登録事業所内での物理HASPタイプとdongルレスタイプの運用の混在・併用はできません。  
dongルレスタイプでの運用に利点を感じていただけるお客様向けのライセンス環境です。

